

東京帝国大学大学院特別研究生候補者の研究事項解説書

—昭和十八年度—昭和二十年度—〔完〕

小幡圭祐

吉葉恭行

三、昭和二十年度第一期

三・一・医学部

東京帝国大学医学部放射線科教室

指導教官 東京帝国大学教授 中泉正徳

二〇一医〇一 研究事項解説書

東京帝国大学医学部大槻外科教室

指導教官 東京帝国大学教授 大槻菊男

一、研究事項 脳波ニヨル脳疾患ノ診断

脳波ニヨル疲労ノ研究

一、研究事項解説

脳外傷特ニ戦傷ニヨル脳損傷ノ部位程度ノ決定ガ脳波ノ分析的

研究ニヨリ窺ヒ知り得ルノ目安ヲ得タ

疲労ノ程度ヲ脳波ニヨリ知りツイテ疲労恢復剤ノ作用点ヲ研究

セントシツ、アリ

二〇一医〇三 研究事項解説書

東京帝国大学医学部泌尿器科教室 副手

指導教官 東京帝国大学教授 高橋明

二〇一医〇二 研究事項解説書

一、研究事項 泌尿器戦傷ノ基礎的研究

一、研究事項解説

泌尿器戦傷ノ予後不良ナルハ其基礎的研究ノ不備ナルニ鑑ミ教授高橋明ハ助教市川篤ニト共ニ軍ヨリノ委嘱ヲ受ケ陸海軍ハ医学校トモ密接ナル連絡ヲ取リツ、是ガ研究ニ没頭シツ、アリ、而テ右研究ヲ速急ニ遂行スル為ニハ三名ノ優秀ナル補助ヲ要ス。■■■■ハ学力優秀思想堅実ニシテ其レガ研究補助員トシテ最適当ニシテ且不可缺ナリト認メ特別研究生トシテ推薦スルモノナリ

二〇一 医〇四 研究事項解説書

東京帝国大学医学部薬学科教室

指導教官 東京帝国大学教授 石館三

一、研究事項 組織呼吸増進剤ノ合成ニ門スル研究

一、研究事項解説

表題ノ研究事項ハ第八陸軍航空技術研究所ノ委嘱ニ係ルモノニシテ航空時低圧ニ於ケル酸素不足ニ起因スル航空疲労ノ予防並ニ疲労ノ急速ナル恢復ヲ目的トスル薬剤ノ探究ニアリ
目下ノ主目標ハ鉄ノ有機錯塩ニ之ヲ求メツ、アリ二三ノ第一鉄有機錯塩ヲ試験管内組織呼吸実験ノ結果有望ナル事ヲ認メ本研究ノ急速ナル促進ノ要望サレツ、アルモノナリ
■■■■ハ本研究ニ委託ヲ受ケタル教官石館三ノ研究遂行ノ為ノ唯一ノ補助研究要員ナリ

二〇一 医〇五 研究事項解説書

東京帝国大学医学部薬学科教室

指導教官 東京帝国大学教授 落合英二

一、研究事項 呂号兵器甲液安定剤ノ研究

一、研究事項解説

本研究ハ現戦局下急ヲ要スル呂号兵器ノ整備上不可缺ノモノニシテ最近教官落合英二ガ海軍技術研究所ノ委託ニヨリ着手シ且ツ戦時研究動員発令ヲ予定セラレツ、アル事項ナリ、本研究ノ急速ナル遂行ノ為ニハ有能ナル補助員少クモ三名ヲ要ス可キ所、落合教室員ノ主要部ハ既ニ発動セラレアル戦時研究動員及ビ学術研究会議ノ研究項目ノ研究ニ従事シ此中研究ノ現況ヨリ教室助手石川正雄ヲ僅カニ転用シ得タルノミナリ、又軍当局ヨリ落合ノ名指ス有能ナル補助員ヲ借用スル事モ困難ナル事情アル為補助員ノ充足ニ極度ノ難渋ヲ覚エツ、アリ、特別研究生候補者■■■■ハ学科成績「優」ノ数ニ於テ他ニ之ヲ凌駕スル者無キニアラザルモ実験化学ノ急所ヲ体得シテ研究スル感能ニ於テ抜群ノ素質ヲ有シ本研究遂行上最適任且ツ不可缺ノ研究要員ナリ。

二〇一 医〇六 研究事項解説書

東京帝国大学医学部都築外科教室 副手

指導教官 東京帝国大学教授 都築正雄

一、研究事項 創傷治療法ノ研究

一、研究事項解説

特ニ創傷治療ノ経過中ニ於ケル皮膚縫合及整形手技ニ就テ研究中ニシテ、本研究ハ治療期間ヲ短縮シ良好ナル成績ヲ得ルタメニ甚ダ緊要ナルモノ、戦力増強上缺クベカラザル研究事項ナリ

二〇一医〇七

研究事項解説書

東京帝国大学医学部物療内科教室 副手

指導教官 東京帝国大学教授 三澤敬義

一、研究事項 喝病殊ニ熱射病ノ予防並ニ治療ニ門スル研究

一、研究事項解説

喝病ハ軍隊ニ於テ夏季殊ニ熱帯圈内ニ於テ行軍中又ハ軍艦ノ鐘室ニ於テ屢々発生スルノミナラズ重工業ニ於テモ汽鐘室ニ於テ火夫ニ屢々火夫痙攣トシテ発生スルモノ尠カラズ、此ノ喝病乃至熱射病ノ予病並ニ治療法トシテ患者血液ノ水分、食塩、アルカリ等ノ缺乏ヲ補フ目的ニアルカリ性食塩泉ナル磯部鉱泉ノ如キ鉱泉ヲ飲用セシムルコトノ有効ナルコトハ三澤ノ既ニ確メタル所ナルモ更ニソノ詳細ナル実験的研究ヲ試ミ且ツ他ニモ此種ノ温泉又ハ鉱泉ヲ広く求メントス、而モ従来全ク閑却セラレタル、カルシウム、カリウム等ノ血液成分ノ缺乏ヲ補フニハ殊ニ上記ノ鉱泉ノ飲用ガ適當ニシテソノ実地ノ應用ノ研究上最少限度三名ノ補助員ヲ必要トスルニヨリ上記特別研究生候補者ハ右補助者トシテ最適任ナル研究要員ナリ

二〇一医〇八 研究事項解説書

東京帝国大学医学部生化学教室

指導教官 東京帝国大学教授 児玉桂三

一、研究事項 航空栄養ニ関スル研究

一、研究事項解説

本研究ハ技術院ヨリ指導教官ニ委嘱セラレタル戦時緊急研究ニシテ低下ニ於ケル新陳代謝ノ研究等多岐ニ互ル該研究ニ対シ早急対策ヲ講ゼントスルモノナリ

二〇一医〇九 研究事項解説書

東京帝国大学医学部解剖学教室

指導教官 東京帝国大学教授 小川鼎三

一、研究事項 化兵剤ノ神経系統ニ及ボス作用

一、研究事項解説

戦時研究(九一七―二)ノ一部トシテ教官小川鼎三ノ研究遂行ノ為最小二名ノ補助員ヲ要スベキ処、従来ノ補助研究員袴田副手ハ胸部疾患ニヨリ、昨年末ヨリ帰郷静養中ニシテ目下回復ノ見込立タズ。ソノ代リトシテ特別研究生候補者ハ学力甚ダ優秀、思想最モ堅実ニシテ右補助者トシテ最適任且絶対不可缺ノ研究要員ナリ

二〇一医一〇 研究事項解説書

東京帝国大学医学部生理学教室

二〇一医二 研究事項解説書

指導教官 東京帝国大学教授 坂本嶋嶺

研究事項

一、研究事項 脳波（中枢神経系統ノ機能ニ門スル電気生理学的研究）

中枢神経系統ノ伝導径路ニ於ケル興奮伝導速度ヲ検査スル方法ヲ研究シ之ヲ中枢神経系統ノ疲労ノ検査及ビ航空士ノ適性ノ検査ニ役立タシメントス、又此ノ研究ニ門聯シテ脳ニ於ケル興奮過程ノ時間の経過ヲ電気生理学的ニ研究シ脳波ノ生ズル所以ヲ闡明セントス 尚此ノ研究ハ海軍航空技術廠ノ依託研究ナリ

二〇一医一 研究事項解説書

東京帝国大学医学部生理学教室

指導教官 東京帝国大学教授 福田邦三

一、研究事項 航空条件ヲ顧慮シタル呼吸中枢及ビ循環中枢ノ機能ニ門スル研究

一、研究事項解説

大日本航空技術協会委嘱ニ係ル「呼吸器系ニ門スル研究」ニ従事スル教授福田邦三ノ研究遂行ノ為五名ノ補助員ヲ必要トスベキ処、現在介補一名ノミニシテ研究ノ進捗意ノ如クナラズ、然ル処研究生候補者ハ予テ福田教授ノ研究室ニ於テ修練ヲ積ミ右補助者トシテ最適任不可缺ノ研究要員ナリ、シカモ表記研究事項ハ局下緊急推進ヲ要スルモノナルヲ以テ本候補者ヲ特別研究生トシテ採択セラレシコト希望ニ堪ヘス。

東京帝国大学医学部整形外科教室

指導教官 東京帝国大学教授 高木憲次

助教 水町四郎

一、研究事項 骨折並ニソノ後貽障碍ノ治療ニ関スル研究

一、研究事項解説

本研究ハ陸軍省ヨリノ依託研究タル「関節損傷後療法ニ関スル基礎的研究」「運動器損傷ト職能ニ関スル研究」ノ一部ノ研究ニシテ骨折治療ニ際シソノ後貽障碍ヲ最少限ニナスト共ニ不幸ニシテ後貽症ヲ残セル場合ノ治療方針ヲ確立シ骨折治療後ノ後貽症ニヨル人的資源ノ損耗ヲ防止セントス

ソノタメ先ツ次ノ如キ研究ヲ行フ予定

一、門節拘縮ノ門節鏡学的研究

一、骨折治療後ノ職業的能力ニ門スル研究

一、以上ヲ基礎トシテノ産業整形外科の治療ノ確立

三二 第一工学部

二〇一工一 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部電気工学科

指導教官 教授 阪本捷房

教授 古賀逸策

一、研究事項 航空機用電波標定機ノ研究

一、研究事項解説

現代航空戦闘ニ於テ電波標定機ハ必要不可缺ノ兵器ニシテ之ガ性能向上ハ一日モ疎ニスベカラザル緊急問題タリ

然カシテ多摩陸軍技術研究所ヨリノ依託ニヨリ阪本古賀両教授之ガ研究遂行中ニシテ本研究ノ速カナル解決ニハ優秀ナル補助員ヲ特ニ必要トス

本候補者ハ成績優秀、研究心ニ富ミ本研究補助員トシテ最適任者ナリ依ツテ此処ニ特別研究生トシテ推薦スル次第ナリ

二〇一―一〇二 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部土木工学科

指導教官 助教 最上武雄

一、研究事項 戦時研究二五―六 飛行場滑走路盤ノ研究

戦時研究二五―七 地下構造物ノ研究

一、研究事項解説

一、技術院、陸海軍、内務省担当戦時研究二五―六並ニ陸軍技術院担当ノ戦時研究二五―七ニ従事スル教官最上武雄ノ研究

隊行上、若干名ノ補助員ヲ要スベキ処特別研究生候補

ハ成績優秀ニシテ右補助員トシテ最適絶対不可欠ノ研究要員

ナリ

尚右、研究終了後ト言ヘドモ続イテ緊急ナル研究命令ニ接ス可

キ事予想セラルル、右ハカカル研究ニツキテモ重要補助員トシ

テ研究ニ従事セシメタキ意向有之ニツキ為念申述べ置候

二〇一―一〇三 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部機械工学科

指導教官 助教 吉澤武男

一、研究事項 防振材料ノ材料学的研究

一、研究事項解説

右研究ハ特ニ潜水艦ノ防音ニ関シコレガ為使用セラルル防振材

料及防振用部品ノ動的静的試験ヲ行ヒソノ機械的性質ヲ明カニ

シ以テ防振防音装置構成上ニ適切ナル資料ヲ得ントスルモノニ

シテ併テ従来ノ試験方法ヲ検討シ前記適切ナル資料ヲ得ンガ為

ニ適當ナル試験方法ヲ明カニセントスルモノデアリ

右者學術研究会議第三十六班科学研究ニ従事スル吉沢助教ノ

許ニテ過去約一ヶ年間学徒研究要員トシテ研究ニ従事シ補助者

トシテ成果ヲ挙げ居リ右研究遂行上必要缺クベカラザルモノニ

シテ研究者トシテ適當ナルモノト認ム

二〇一―一〇四 a 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部船舶工学科

指導教官 教授 山本武蔵

助教 木下昌雄

一、研究事項 (軍極秘)

ロケット水雷

一、研究事項解説

昭和二十年二月二日海軍技術研究所長ヨリ東京帝国大学総長宛

技研機密第五〇〇号ヲ以テ申越シノ事項ニ基ツキ第一工学部船舶工学科内ニ海軍技術研究所東京帝国大学分所研究室設ケラル、コトトナリシガ（目下海軍側ヨリノ公式手続中）右研究室内ニ於テ研究スベキ特殊問題（軍極秘）ノ研究ニ従事スル教授山本武蔵助教授木下昌雄ハ研究遂行ノ為式名ノ補助員ヲ要スベキ処当該研究ヲ遂行スルニ要スル基礎学科ニ於テ成績極メテ優秀ナル■■■■ヲ補助者トシテ最適任且絶対不可缺ノ研究要員ト認メタルヲ以テ右■■■■ヲ特別研究生トシテ推薦ス

二〇一工〇四b 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部船舶工学科 ■■■■

指導教官 教授 吉識雅夫

一、研究事項

潜水艦ノ防音ニ関聯シ船体振動ノ研究ヲ実施ス

一、研究事項解説

本研究ハ文部省學術研究会議ヨリ依嘱セラレタル緊急科学研究「第三十六班、潜水艦ノ防音」ニ関スル研究ノ一ニシテ研究担当者教授吉識雅夫ハ右研究遂行上最小限助手一名実験補手二名ヲ必要トスル現状ナルニモ不拘、之等ノ要員ヲ欠キ居ル状況ナリ、然ルニ右学生ヲ補助者トシテ得ラレタル曉ニハ、助手、補手等ニナキ学徒トシテノ特質ヲ有シ研究^{種人}完遂上非常ニ有力ニシテ右^{種人}研究上絶対不可缺ノ研究要員ナリトス

斯クテ潜水艦防音ノ研究上欠クベカラザル船体振動ノ方面ノ研

究ヲ遂行シ得テ防音ノ完遂^{種人}壁ヲ期シ得ルモノトス

二〇一工〇五 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部航空学科（原動機専修） ■■■■

指導教官 教授 中西不二夫

一、研究事項 戦研一ノ五ノ二

一、研究事項解説

間歇燃燒動圧ロケット（V—一号）原動機ノ研究及試作

二〇一工〇六 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部造兵学科 ■■■■

指導教官 教授 大越諄

一、研究事項 爆撃精度ヲ飛躍的ニ向上セシメル研究中主トシテ

爆撃照準具ノ垂直保持方法ノ研究

一、研究事項解説

本研究ノ目的トスル所ハ爆撃精度ニ極メテ重大ナル影響ヲ及ボス爆撃照準具ノ垂直保持方法ヲ研究シ精度上並ビニ大量生産上極メテ理想的ナル垂直保持方式ヲ決定シ以ツテ爆撃精度ノ飛躍的向上ヲ計ラントスルニアリ

航空決戦ガ国家ノ運命ヲ左右スル現戦局ニ於テ本研究ガ如何ニ国家緊急ノ科学研究ナルカハ詳言ヲ要セザル所ナリ

本研究ハ第五陸軍航空技術研究所ヨリ委託サレシモノニシテ目下戦時研究トシテ手続中ノモノナリ

二〇一―一工〇七

研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部建築学科

指導教官 教授 武藤清

一、研究事項 爆撃威力ニ関スル研究

一、研究事項解説

本研究ハ航空新兵器ニ関スル軍事機密研究トシテ学内第三陸軍航空技術研究所、武藤研究室ニ於テ実施シツツアル緊急研究事項ニシテ右学生ハ学徒勤労働員中ヨリ昭和十九年五月以降右研究補助員トシテ研究ニ協力セルモノニシテ研究ノ完成及ビ發展ニ不可欠ナル要員ナリ

二〇一―一工〇八

研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部応用化学科

指導教官 教授 亀山直人

一、研究事項 金属カルシウム及ビ其水素化物ノ製法ノ研究

一、研究事項解説

海軍技術研究所ヨリ教授亀山直人へノ委嘱ニ依ルB剤及ビ水素発生剤ノ研究ノタメニ名ノ補助員ヲ要スベキノ処、右ハ学力優秀、性質明確、又努力家ニシテ右補助者トシテ最適任且絶対不可缺ノ研究要員ナリ

二〇一―一工〇九

研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部冶金学科

指導教官 教授 三島徳七

一、研究事項 航空機用「アルミニウム」合金ノ塑性加工ニ関スル研究

一、研究事項解説

「アルミニウム」合金加工技術ノ改善向上ヲハカルコトハ優秀ナル航空機ノ多量生産ニ最緊急ヲ要スル問題ナリ、然ルニ「アルミニウム」合金鍛造圧延及押出製造ニ関スル塑性加工ノ基礎的研究ハ未解決ノ点多ク航空機増産上ノ隘路トナリ居レリ。

指導教官三島教授ハ夙ニ此研究ニ着目シ日本學術振興第四四小委員会ヲ設置シテ技術ノ進歩ヲハカルト共ニ文部省科学研究及軍部並ニ技術院ノ依嘱研究ニ依リ鋭意其解決ニ努メ既ニ認ムベキ成果ヲ挙ゲ居ルモ此際急速ニ研究ノ完遂ヲ期スルタメ多数ノ研究補助員ヲ要スル事情ニアリ。特別研究生候補者ハ学力人物共ニ優秀且身体強健ナル最適任者ニシテ絶対不可缺ノ研究要員ナリ。

二〇一―一工一〇

研究事項解説書

東京帝国大学理学部地質学科

指導教官 教授 上床國夫

一、研究事項 緊急開発ヲ要スル内地試掘及採掘油田ノ地質精査研

究

一、研究事項解説

右研究ハ昭和十九年度文部省科学研究第五十三班「鉱産燃料」中ノ研究項目トシテ各帝国大学地質学関係教官ヲ動員シテ研究シ来タレルモノニシテ本学ニ於テハ教授上床國夫之ヲ担当研究セルモノデアル

然シテ決戦下益々内地油田ノ石油緊急増産ノ必要ニ鑑ミ、之ガ研究ヲ切ニ陸軍燃料本部海軍省軍需局及軍需省燃料局等ニ於テ要望依頼セルモノニシテ之ガ研究遂行ノタメニハ上床教授ノ下ニ四名ノ補助員ヲ要スベキ処大学院特別研究生候補者■■■■及ビ■■■■ノ兩名ハ本理学部地質学科学学生ニシテ上床教授指導下ニテ石油地質学ヲ専攻セルモノニシテ學術優秀身体強健ナレバ右候補者トシテ最適任且ツ絶対不可缺ノ研究要員デアル仍テ此兩名ヲ大学院特別研究生トシテ御許可願度上申ニ及ブ次第デアル。

二〇一―一工一一

研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部機械工学科

指導教官 教授 川田正秋

一、研究事項

高速ディーゼル機関ノ高出力化ニ関スル研究

一、研究事項解説

右研究ハディーゼル機関ノ性能向上ニ対シ最も重要ナル噴油燃焼法ノ研究ヲ主トシテコレニ過給ノ研究ヲ附加シ戦車牽引車及高

速艇用程度ノ高速ディーゼル機関ノ高出力化ヲ目的トスルモノニシテ既ニ噴油法ニツキテハ研究進捗シ一部実用ノ見込アリ、更ニ過給研究ヲモ併行シテ出力向上ヲ計リコノ結果ノ実用ニヨリ戦力増強ニ貢献センモノト急ギツ、アリ

右者目下學術研究会議第十七研究班科学研究ニ従事スル川田教授ノ研究補助者トシテ既ニ過去約一ケ年間学徒研究要員トシテ研究ニ従事シ成果ヲ挙げ居リ研究遂行上必要欠クベカラザルモノニシテ研究者トシテ適性ナルモノト認ム。

二〇一―一工一二a

研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部船舶工学科

指導教官 教授 吉識雅夫

一、研究事項

潜水艦ノ防音ニ関聯シ船体振動ノ研究ヲ実施ス

本研究ハ文部省學術研究会議ヨリ依頼セラレタル緊急科学研究「第三十六班、潜水艦ノ防音」ニ関スル研究ノ一ニシテ研究担当者教授吉識雅夫ハ右研究遂行上最小限助手一名実験補助二名ヲ必要トスル現状ナルニモ不拘、之等ノ要員ヲ欠キ居ル状況ナリ、然ルニ右学生ヲ補助者トシテ得ラレタル曉二ハ、助手、補手等ニナキ学徒トシテノ特質ヲ有シ研究完遂上非常ニ有力ニシテ右者研究上絶対不可缺ノ研究要員ナリトス、斯クテ潜水艦防音ノ研究上欠クベカラザル船体振動ノ方面ノ研究ヲ遂行シ得テ防音ノ完璧ヲ期シ得ルモノトス

二〇一工二二b 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部船舶工学科 ■■■

指導教官 教授 山本武蔵

助教 木下昌雄

一、研究事項「軍極秘」ロケット水雷

一、研究事項解説

昭和二十年二月二日海軍技術研究所長(印)ヨリ東京帝国大学総長

宛技研機密第五〇〇号ヲ以テ申越シノ事項ニ基ツキ第一工学部

船舶工学科内ニ海軍技術研究所東京帝国大学分室(分室)所研究室設

ケラル、コトトナリシガ(目下海軍側ヨリノ公式手続中)右研

究室内ニ於テ研究スベキ特殊問題(軍極秘)ノ研究ニ従事スル

教授山本武蔵助教木下昌雄ハ研究遂行ノ為式名ノ補助員ヲ要

スベキ処該研究ヲ遂行スルニ要スル基礎学科ニ於テ成績極メ

テ優秀ナル中村彰一ヲ補助者トシテ最適任且絶対不可缺ノ研究

要員ト認メタルヲ以テ右■■■■ヲ特別研究生トシテ推薦ス

二〇一工二三 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部航空学科(原動機専修) ■■■

指導教官 教授 中西不二夫

一、研究事項 戦研一ノ五ノ二

一、研究事項解説

過熱噴流推進装置ノ燃燒ノ研究特ニタービンロケットノ燃燒器

ノ研究及試作

二〇一工二四 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部造兵学科 ■■■

指導教官 教授 佐々木連治郎

一、研究事項 簡易軽量ニシテ精度大ナル飛行機ノ位置及方向ヲ測定スル計器

一、研究事項解説

一、研究事項解説

本研究ノ目的トスル所ハ長距離攻撃ニ際シ飛行機ノ位置及方向

ヲ精度ヨリ測定シ且簡易軽量ナル計器ヲ得ルニアリテ已ニ昭和

十八年二月ヨリ第五陸軍航空技術研究所ガ主催者ニシテ海軍航

空技術廠ガ協力者タル戦時研究三五―二ノ一部ニ属ス

二〇一工二五 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部電気工学科 ■■■

指導教官 教授 阪本捷房

一、研究事項 電波地形判別機の研究

一、研究事項解説

電波地形判別機は今次戦争の新兵器として其の航空作戦に於け

る重要性は言ふを俟たず然かして性能優秀なる本兵器の完成を

目的として多摩陸軍技術研究所、本郷分室に於て阪本教授研究

遂行中にして之が速かなる完成を計る為には研究補助員四名を

要し特に優秀なる補助員の必要を痛感せらるゝ所なり

本候補者は成績優秀独創力に富み本研究の補助員として最適任

なるを以て此処に特別研究生として推薦する次第なり

二〇一工一六

研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部応用化学科

指導教官 教授 永井彰一郎

助教 山口悟郎

一、研究事項 高周波絶縁用滑石磁器ノ研究

一、研究事項解説

戰時研究「一〇—二」(終了)ナリシ電波兵器電氣絶縁材料ノ

研究ニモ関係ヲ有シ第八陸軍技術研究所^(抹消)ヨリノ委嘱ノ教授永井

彰一郎、文部省學術研究会議ノ研究班第二六班電氣兵器材料第

二八班耐熱電氣材料等ノ研究者教授永井彰一郎助教山口悟郎

ハ研究遂行^(抹消)ヲ為メ当人目下同一問題研究ニ従事シ且ツ學術

優秀、性質明確又努力家ニシテ其ノ研究補助者トシテ最適任ノ

モノナリ

二〇一工一七

研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部冶金学科

指導教官 教授 三島徳七

一、研究事項 鉄葉莖製造ニ関スル研究

一、研究事項解説

大砲、機関銃及び小銃用ノ葉莖ハ従来總テ真鍮(鋼—亜鉛合金)

ヲ以テ製造セラレ居タルガ最近銅地金ノ不足ノ結果鉄葉莖ヲ以

テ代用スルノ止ムナキニ至レリ、此結果圧伸加工及び熱処理等

ニ於テ至急解決ヲ要スル難点アリ指導教官三島教授ハ軍部ノ依

嘱ニヨリ銳意之ガ解決ニ努力シ居ルモ目下急速ニ本研究ヲ完成

スル^(抹消)ニシテ多数ノ補助員ヲ必要トスル状況ニアリ。特別研究生候補者^(抹消)ハ学力、人物共ニ優秀ナル最適任者

ニシテ絶対ノ不可缺ノ要員ナリ。

二〇一工一八

研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部冶金学科

指導教官 教授 志村繁隆

一、研究事項 「カルボニル法純金属ヲ原料トスル合金、特に特別

高性能特殊鋼ノ研究」

一、研究事項解説

カルボニル法純金属ガ他法ニ依ルモノニ比シ諸性質ガ卓絶セル

事ハ既ニ明ナル所ニシテ、是等ヲ原料トセル合金ガ更ニ優秀ナ

ル性能ヲ示ス事ハ当然ナリ。且、合金技術ニ於テモ成分金属ノ

カルボニルヲ混合シ之ヲ分解シテ合金ヲ製造スル特徴^(抹消)ヲ有ス。

此種高性能特殊合金ハ電波兵器用重材料、航空発動機用特殊

材料其他、特殊兵器ノ重要部分等ニ緊急缺クベカラザル次第ニ

シテ指導教官ハ以上夫々ノ目的ニ対シ多摩陸軍技術研究所、第

六航空技術研究所、及第八陸軍技術研究所ヨリノ緊急委嘱ニ従

ツテ「カルボニル法ニ依ル純金属ノ製造及其ノ利用」ノ研究ニ

銳意従事シ更ニ、其ノ量産化ヲ企テツツアリ。

本研究ハ合成、分解、焼結、加工、等多方面ニ汎ルヲ以テ、多

数ノ高級科学技術協力者ヲ必要トスル所ニシテ特に、合金技術

方面ニ対シテハ本候補者ノ協力ガ絶対不可缺ニシテ且本人ハ成績優良、學術ニ熱心其他思想体格等本研究協力者トシテ最適ナリ。

二〇一工一九 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部航空学科(原動機専修) ■■■

指導教官 教授 中西不二夫

一、研究事項 戦研一ノ五ノ二

一、研究事項解説

タービンロケットノ性能ノ研究

二〇一工二〇 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部電気工学科 ■■■

指導教官 教授 山田直平

一、研究事項 水測兵器ニ関スル研究

一、研究事項解説

水測兵器ハ現下ノ如ク輸送ガ戦局ヲ支配スル現状ニ於テ極メテ

重要ナル兵器ナルハ言フ俟ザル所ナリ

山田教授ハ海軍技術研究所音響研究所ノ依嘱ニヨリ本兵器ノ改

善研究ニ^(マ)進中ナルモ、其成果ヲ速ニ挙グルニハ少クモ五名

ノ優秀ナル補助員ヲ要スベキ処、現在他ヨリ之ヲ得ベカラザル

事情ニアリ、特別研究生 ■■■ハ右補助者トシテ最適且絶

対不可缺ノ研究要員タリ。

二〇一工二一 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部建築学科 ■■■

指導教官 教授 浜田稔

一、研究事項 戦時構築材料ノ研究

一、研究事項解説

戦時下セメント其他ノ構築材料ノ不足ハ緊急^(実情)要ナル飛行場、

防空諸施設、軍需工場、等ノ建設、食糧増産等ニ支障多シ

本研究ハ其ノ代用品ヲ得ルヲ目的トシテ、指導教官ガ第七陸軍

航空技術研究所、陸軍築城部本部、防空総本部、農商省農政局

等ヨリ委嘱サレ居ルモノニシテ現在助手難ノ折柄特別研究生ト

シテ教官ノ手足トナリ研究遂行センコト自他共ニ極メテ最適ナ

リ。

二〇一工二二 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部応用化学科 ■■■

指導教官 教授 桑田勉

一、研究事項

頁岩油ヨリ航空潤滑油ノ製造研究

一、研究事項解説

海軍省委嘱ニ係ル撫順頁岩油ヨリ航空潤滑油ノ製造ノ研究ニ従

事スル教授桑田勉ノ研究遂行ノタメニ名ノ補助員ヲ要スベキノ

処右 ■■■ハ其補助者トシテ最適且絶対不可缺ノ研究要員

ナリ且同人ハ性質明確学力優秀ニシテ努力家ナリ

二〇一―一工二三 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部機械工学科

指導教官 教授 谷下市松

一、研究事項

航空発動機ノ振動吸収装置ニ関スル研究

一、研究事項解説

本研究ハ航空発動機ノ振動ヲ起ス原因ヲ調査シソノ振動吸収装置ノ理論的並ニ実験的研究ヲ行フコトヲ主ナル目的トス、抑航空発動機ノ振動源ニハ瓦斯ノ爆發力ニ起因スルモノ、運動部分ノ慣性力ニ起因スルモノ、プロペラニ起因スルモノ等種々アリテソレニヨリ航空発動機ニ誘起サレル振動ヲ吸収スル所謂吸振器ニハ摩擦吸振器ト動的吸振器トアリ、更ニ後者ニハ振子型吸振器ト液体ノ液動型吸振器トアリ、本研究ニ於テハ動的吸振器ノ研究ニ重点ヲ置ク予定ナリ

大日本航空技術協会委嘱ニ係ル「波動型ダンパーノ研究」ニ従事スル教授谷下市松ノ研究遂行ノ為相当数ノ補助員ヲ要スベキ所目下大学内ニ於テ之ニ適當ナル研究補助者ヲ充足スルコト困難ニシテ特別研究生■■■■ハ過去約一ケ年間動員学徒トシテ中島飛行機某製作所ニ於テ航空発動機ノ製作ニ従事シ右研究補助者トシテ最適任且絶対不可缺ノ研究要員ナリ

二〇一―一工二四 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部応用化学科

■■■■

一、研究事項

強化木材（殊ニ飛行機用）及其膠着剤

一、研究事項解説

第六陸軍技術研究所ノ委嘱ニ係ル強化木材（殊ニ飛行機用）及ソノ膠着剤ノ研究ニ従事スル教授厚木勝基ノ研究遂行ノ為メ其ノ研究補助員トシテ適任ノモノナリ

二〇一―一工二五 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部建築学科

■■■■

指導教官 教授 平山嵩

一、研究事項 地下工場ノ研究

一、研究事項解説

本研究ハ目下政府並ニ軍要望セル地下工場建設ニ関シ、地下工場ノ設計、空気状態除湿等ヲ研究セントスルモノニシテ指導教官ガ戦時研究員トシテ同事項ヲ担当シ又東部軍司令部、陸軍築城部本部等ヨリ委嘱サレ居ル事項ニ属ス

研究遂行ニ当リ特別研究生トシテ教官ト一体トナリ助手ノ任ヲ努ムルハ自他共ニ極メテ好適ナリ

二〇一―一工二六 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部応用化学科

■■■■

指導教官 教授 牧鋭夫

一、研究事項

化学兵器ノ合成研究

一、研究事項解説

戰時研究「九―七―二」ニモ關係ヲ有シ第六陸軍技術研究所ノ
委嘱ニ係ル化学兵器ノ合成研究ニ従事スル教授牧銳夫ノ研究遂
行ノ為メ其ノ研究補助員トシテ学力優秀、性質明確、又努力家
ナル■■■■ハ最適任ノモノナリ

二〇―一工二七 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部航空学科（原動機専修）

指導教官 助教 西脇仁一

一、研究事項 決戦兵器⑦關係研究

一、研究事項解説

戰略的内容ノ軍極秘ノ秘密研究ナルニ依リ内容記載不能

二〇―一工二八 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部応用化学科

指導教官 教授 亀山直人

助教授 牧島象二

一、研究事項 特殊蛍燐光体ノ製法研究

一、研究事項解説

特殊ノ蛍燐光体ノ製法研究ハ第八陸軍技術研究所第七陸軍技術
研究所海軍技術研究所海軍航空技術廠第五陸軍航空技術研究所

ヨリ教授亀山直人ヘノ委嘱ノモノニシテ当人ハ既ニ卒業論文ニ
於テモ類似ノ研究ニ従事シ且ツ學術優秀、性質明確又努力家ニ
シテ右補助者トシテ最適任且ツ絶対不可缺ノ研究要員ナリ

二〇―一工二九 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部建築学科

指導教官 教授 武藤清

一、研究事項 爆弾ノ破壊機構ニ関スル研究

一、研究事項解説

本研究ハ爆撃、電撃ニ関スル破壊機構ニ関スル研究ニシテ攻撃
並ニ防禦上必要ナル事項ヲ解明セントスルモノナリ。指導教官
ガ戦研一六―一三トシテ陸軍航空本部、第三陸軍航空技術研究所、
陸軍築城部本部等ヨリ委嘱セラルル研究事項ニシテ右学生ハ昭
和十九年九月以降右研究ノ補助員トシテ研究ニ当リツツアリタ
ルモノニシテ助手難ノ折柄ココニ特別研究生ヲ得ルコトハ時局
下最モ適切ナルモノト確信スルモノナリ。

二〇―一工三〇 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部航空学科（原動機専修）

指導教官 教授 中西不二夫

一、研究事項 戦研一ノ五ノ二

一、研究事項解説

発動機ロケットノ性能ノ研究

二〇一―一工三一

研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部建築学科

指導教官 教授 平山高

一、研究事項 軍飛行場ノ施設ノ研究

一、研究事項解説

現戦局下軍飛行場ノ施設整備拡充ヲ図ル可キハ緊急ニシテ瞬時
モ遅延ヲ許サザル状況ニアリ。

本研究ハ其ノ主旨ニ添ヒ照明施設特ニ無線点灯ヲ行フニ在リテ
指導教官ガ第七陸軍航空技術研究所ヨリ委託研究ヲ命ゼラレ、
助手難ノ折柄特別研究生トシテ教官ト一体トナリ研究ヲ遂行シ
戦争手段ニ役立テントスルモノナリ

二〇一―一工三二

研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部建築学科

■■■■

指導教官 助教授 吉武泰水

一、研究事項 航空機工場ノ分散配置計画ニ関スル研究

一、研究事項解説

本研究ハ航空機工場ノ分散配置ニ関スル計画の諸問題就中工場
建家群ノ配置状態ヲ研究セントスルモノニシテ研究完成上助手
難ノ折柄特別研究生ヲ得ルコト自他共ニ極メテ好適ナリ

東京帝国大学第一工学部機械工学科

指導教官 教授 谷下市松

一、研究事項

潜水艦防音ノ研究

一、研究事項解説

本研究ハ潜水艦用機械ノ発スル音響ノ原因ヲ調査分析シソレヲ
防止スル防振装置ノ実験的研究ヲ行フヲ主ナル目的トス、一般
ニ艦船ノ発スル音響ヲ防止センニハソノ機械ヨリ発生シタル振
動ヲ出来得ル限り艦船ノ本体ニ伝ヘザル様ニ機械ト艦船本体ト
ノ間ニ防振装置ヲ挿入シテ目的ヲ達ス而シテ防振装置ノ形状及
ビ構造ヲ適當ニシテコレガ防振効果及ビ耐久力ヲ最大ナラシム
ルガ如クスル点ニ関シテハ目下尚不明ノ点多クコレヲ本研究ニ
於テ闡明セントス

学術研究会議緊急科学研究第三十六班潜水艦ノ防音ノ研究ニ従
事スル教授谷下市松ノ研究ノ為相当数ノ補助員ヲ要スル所目下
大学内ニ於テ之ニ適當ナル研究補助者ヲ充足スルコト困難ニシ
テ特別研究生■■■■ハ右補助者トシテ最適任且絶対不可欠ノ
研究要員ナリ

二〇一―一工三四

研究事項解説書

日本大学工学部応用化学科

指導教官 教授 永井彰一郎

二〇一―一工三三

研究事項解説書

一、研究事項

珪酸苦土質耐久物及其ノ原料ノ研究

一、研究事項解説

軍需省鉄鋼局及ビ爐材統制株式会社ヨリ教授永井彰一郎ヘノ委嘱ニ依ル耐火煉瓦増産ニ関スル研究ノ為メ珪酸苦土質耐火物トシテノ撤攬岩クリンカーノ増産ニ関スル主任トシテノ研究ノ為メ三名ノ補助員ヲ要スベキノ処右■■■■ハ学力極メテ優秀、性質明確又努力家ニシテ右研究ノ補助員トシテ最適且ツ不可缺ノ要員ナリ

三、三、理学部

二〇一理〇一 研究事項解説書

東京帝国大学理学部物理学科 ■■■■

指導教官 教授 小谷正雄

一、研究事項 高周波強電界に於ける諸現象の研究

一、研究事項解説(研究事項ノ国家的緊要性ノ説明ヲ含ム)

担当教官が海軍第二技術廠島田実験所に於いて海軍囑託として行ひつゝある研究の補助員として採用するものであるが、研究の内容については説明^(株消)する軍極秘のためここに記述することはできない。

二〇一理〇二 研究事項解説書

東京帝国大学理学部物理学科 ■■■■

指導教官 教授 嵯峨根遼吉

一、研究事項 真空技術

一、研究事項解説(研究事項ノ国家的緊要性ノ説明ヲ含ム)

學術研究会議第一三八班 真空班及海軍依託研究ニ関スル研究ニシテ 真空管工場 光学方面ノ真空蒸発 液体酸素容器製造 蓄電器製造 油脂ノ真空蒸留等ニ緊急ヲ要スル 優秀ナル真空技術 ポンプ 装置 ゲージ 材料等ニ関シ研究ヲ行ヒ早急ニ此等兵器整備上ノ隘路トナル此等部品ノ生産技術ニ寄与セント

二〇一理〇三 研究事項解説書

東京帝国大学理学部物理学科 ■■■■

指導教官 教授 小谷正雄

一、研究事項 磁電管に関する研究

一、研究事項解説(研究事項ノ国家的緊要性ノ説明ヲ含ム)

電波兵器に用ゐられる発振管としての磁電管の^{発振機構及び共振回路の}改良、特に波長を短縮性質を研究しその改良就中波長の短縮及び出力の増大に資せんとするものである。主として海軍第二技術廠^(マ)島田実験所と連絡して研究を進める筈である。

二〇一理〇四 研究事項解説書

東京帝国大学理学部物理学科 ■■■■

指導教官 教授 茅誠司(印)

一、研究事項 磁気材料ノ物理的研究

一、研究事項解説(研究事項ノ国家的緊要性ノ説明ヲ含ム)

電波兵器用変圧器ノ鉄心ヲ高磁束密度ノ珪素鋼板ニテ作り、重量ノ輕減ト性能ノ向上ヲ計ラントスルモノナリ。尚又ニツケルノ鉄合金ノ代用材料トシテ高透磁率珪素鋼板ヲ作り負荷線輪用磁心ニ供セントス

二〇一理〇五 研究事項解説書

東京帝国大学理学部化学科 ■■■■■

指導教官 教授 鮫島實三郎

一、研究事項 化学兵器ニ関スル研究

一、研究事項解説（研究事項ノ国家的緊要性ノ説明ヲ含ム）

化学兵器即チ戦用毒物類ノ物理化学的性質ヲ測定シ更ニ其ノ結果ニ基キソレヲ戦場ニ於テ使用スル方法ニ就テ研究ヲ行フモノニシテ戦時研究（九一七）ノ補助員トシテ実験ニ従事ス。化学兵器ノ研究ハ戦局ノ現状勢ニ於テハ不可缺ノ緊要事タルベシ。

二〇一理〇六 研究事項解説書

東京帝国大学理学部化学科 ■■■■■

指導教官 水島教授

一、研究事項 電波兵器用可撓性絶縁物「ポリイソブチレン」の製造に関する研究

一、研究事項解説（研究事項ノ国家的緊要性ノ説明ヲ含ム）

本研究は戦時研究として昨年四月より開始し右■■■■■は当時より勤労学徒として同研究に従事せるものなり、幸にして右研

究は一応ノ完成を見、目下量産の途次にあるも尚その改善に關して研究すべき事項多く最初より此の研究に従事せる■■■■■を大学院に入学せしめて更にその進展をはかるを戦力増強上策を得たるものと考ふるものなり。

二〇一理〇七 研究事項解説書

東京帝国大学理学部化学科 ■■■■■

指導教官 木村教授

一、研究事項 真空管材料無機塩類ノ製法ニ関スル研究

一、研究事項解説（研究事項ノ国家的緊要性ノ説明ヲ含ム）

電波兵器ハ近代戦ニ缺クベカラザルモノデアリ、ソノ電波兵器ノ中枢ヲナスモノハ真空管デアアル。セシウム塩ハ光電管製作ニ於ケル主材料デアリ、又ストロンチウム塩ハ真空管ノ酸化物陰極材料トシテ、高性能真空管製作上最モ重要ナル材料ノ一ツデアアル。シカルニ我國ニ於テハ、此等元素ノ鉱石タルポルサイト及ビストロンチウム石、天青石等ノ産出ナリ、他ノ元素ノ鉱物ニ或ハ鉱泉ニ少量含マレテ産出スルニスギナイ。ヨツテソレラノ鉱物或ハ鉱泉中ヨリ、実用ニ適スル純粹ナルセシウム塩及ビストロンチウム塩ヲ抽出製造スル方法ヲ研究スルモノデアアル。

二〇一理〇八 研究事項解説書

東京帝国大学理学部化学科 後期学生 ■■■■■

指導教官 東京帝国大学教授 久保田勉之助

一、研究事項 「アセチレン」を資料とする固態燃料の研究

一、研究事項解説（研究事項ノ国家的緊要性ノ説明ヲ含ム）

「アセチレン」ヲ接觸のニ水加シテ「アルデヒト」ニ変ジ之ヲ更ニ接觸のニ重合セシメテ固型燃料ヲ得ントスルモノニシテ本品ハ嚴寒地ニ於テモ発煙等ヲ起スコトナク有用ナル熱源トシテ使用シ得ルモノナリ。從テ北滿等ノ如キ寒冷地ニ於テ敵前炊事等ノ用ニ供スル緊要ナル燃料ヲ成スべく特ニ固型ニシテ携帯運搬ニ至便ナルガ故ニ著シク緊要視セラレ得ルモノナリ。（軍、極秘）（軍依託研究）

二〇一理一〇 研究事項解説書

東京帝国大学理学部数学科

指導教官 教授 辻正次

一、研究事項 等角写像論

一、研究事項解説（研究事項ノ国家的緊要性ノ説明ヲ含ム）

航空機ノ翼理論ニ現ハレル等角写像ノ函数論的研究 特ニ翼型ノ外部ヲ单位円ノ外部ニ写像スル函数ノ近似解ヲ求メル研究

二〇一理一一 研究事項解説書

東京帝国大学理学部天文学科

指導教官 萩原雄祐

一、研究事項 太陽輻射線ノ電波ニ及ボス影響

一、研究事項解説（研究事項ノ国家的緊要性ノ説明ヲ含ム）

太陽面諸現象殊ニ急激ナル活動ハ電波伝播ニ著シキ影響ヲ及ボスモノト思考セラル、其ノ影響トイウノハ受信並ニ発信ノ障害デアアル、

電波伝播ノ突然ノ障害ハ軍ノ作戰上殊ニ船室作戰ノ場合ニハ重要ナル影響ヲ及ボス、從ツテ其ノ障害予報ヲナス為ニハ太陽面、諸現象ヲ探求シ夫レヨリ直ニ予報出来得ル迄ニ進メネバナラス。

二〇一理一二 研究事項解説書

東京帝国大学理学部動物学科

一、研究事項 「アセチレン」を資料とする固態燃料の研究

一、研究事項解説（研究事項ノ国家的緊要性ノ説明ヲ含ム）

「アセチレン」ヲ接觸のニ水加シテ「アルデヒト」ニ変ジ之ヲ更ニ接觸のニ重合セシメテ固型燃料ヲ得ントスルモノニシテ本品ハ嚴寒地ニ於テモ発煙等ヲ起スコトナク有用ナル熱源トシテ使用シ得ルモノナリ。從テ北滿等ノ如キ寒冷地ニ於テ敵前炊事等ノ用ニ供スル緊要ナル燃料ヲ成スべく特ニ固型ニシテ携帯運搬ニ至便ナルガ故ニ著シク緊要視セラレ得ルモノナリ。（軍、極秘）（軍依託研究）

二〇一理〇九 研究事項解説書

東京帝国大学理学部地質学科

指導教官 坪井誠太郎教授

一、研究事項 岩石のカタモルフイズム（分解変質）の研究（殊に

戦用資源物資に關聯して）

一、研究事項解説（研究事項ノ国家的緊要性ノ説明ヲ含ム）

岩石のカタモルフイズムの研究は戦用資源物資（例へばアルミニウム、或種のニッケル鉱、セメント代用土等）に關する緊急問題解決上速急に進行せしむるを要し、坪井誠太郎教授担当の科学動員下重要研究及び戦研二六一一の遂行上重要な処、
■は現に此の研究に従事中にして右につき不可缺の要員なり。

指導教官 辻村太郎

東京帝国大学理学部化学科

一、研究事項 戦時交通の地理学的研究

指導教官 水島教授

一、研究事項解説（研究事項ノ国家的緊要性ノ説明ヲ含ム）

一、戦事交通の及ぼす自然条件の影響

熱帯多雨林地、寒帯湿地の通過、各種海岸地形への着岸、航空基地と航空路等の問題を扱ふ。

二、戦事交通に関する人文条件の分析

民族による運搬方法、能力の問題、軍需工業立地の分散化と交通網、兵站基地としての聚落等の問題を研究す。

二〇一理一七 研究事項解説書

東京帝国大学理学部地球物理学科

指導教官 教授 松澤武雄

一、研究事項 弾性波ニヨル地下探査

一、研究事項解説（研究事項ノ国家的緊要性ノ説明ヲ含ム）

特ニ石炭石油等ノ如キ地下資源開発ニ最モ重要ナル手段ナル弾性波ニヨル地下探査法ノ研究ニ従事スル教官松澤武雄ノ研究遂行ノ為多数ノ補助員ヲ要スベキ処特別研究生候補者■■■■ハ既ニ此研究ノ一部ヲ補助シツ、アリテ右補助者トシテ最適任且絶対不可缺ノ研究要員ナリ

二〇一理一九 研究事項解説書

東京帝国大学理学部物理学科

指導教官 教授 小谷正雄
助教授 今井功

一、研究事項 爆発現象の流体力学的及び分子論的研究

一、研究事項解説（研究事項ノ国家的緊要性ノ説明ヲ含ム）
ロケット兵器の研究の一項目として、爆発現象の流体力学的及び分子論的研究を行ふもので指導教官の一人（今井）が海軍技術敵理学研究部の依頼により行ひつ、ある研究の補助員とするものである。

二〇一理一八 研究事項解説書

二〇一理二〇 研究事項解説書

東京帝国大学理学部化学科

指導教官 教授 鮫島實三郎

一、研究事項 木材ノ炭化並ビニ活性炭ニ関スル研究

一、研究事項解説(研究事項ノ国家ノ緊要性ノ説明ヲ含ム)

木材其他種々ナル材料ニ他物質(塩類等)ヲ附加シテ炭化スル際ノ化学反応、並ビニ斯クシテ得タル木炭ノ性質ニ就テ研究ス。コノ研究ハ木炭ノ着火性ノ改良、活性炭ノ製造、木材ノ不燃化ノ目的ヲ以テ行ハルルモノニシテ海軍ヨリノ委託研究(火薬関係)文部省科学研究(化学兵器及触媒)日本學術振興会研究(火災科学)ノ要請ニ即応スルモノナリ。

二〇一理二一 研究事項解説書

東京帝国大学理学部鉱物学科

指導教官 伊藤教授

一、研究事項 軍需特殊鉱物資源ノ探求

一、研究事項解説(研究事項ノ国家ノ緊要性ノ説明ヲ含ム)

特殊軍需用トシテ絶対必要ナル特殊鉱物ノ探査ニ従事スルモノナリ

三、四、農学部

二〇一農〇一

大学院特別研究生候補者研究事項解説書 東京帝国大学農学部

東京帝国大学農学部農学科

一、研究事項

馬鈴薯「バイラス病」害防止ニ関スル生理学的研究

一、研究事項解説

戦局ノ推移ト共ニ甘藷並ニ馬鈴薯ハ食糧トシテ又液体燃料ノ給源トシテ愈々ソノ重要性ガ加ハリ最近ハ戦争遂行上ソノ画期的増産ガ要請セラル、ニ到レリ、馬鈴薯栽培ハ暖地産ノ種薯ヲ使用スルトキハ「バイラス病」ノ侵ストコロトナリ少クトモ一割以上多キ場合ハ五割ニ近キ減収ヲ来ス実収ニアリ、ソレ故ニ鈴薯ノ増殖ハコノ種病害ヲ避ケンガタメ從來北海道ノ種薯ニノミ依存セルモ大増産ヲ完遂センガタメニハ輸送ノ關係上北方産ニ頼ルコト不可能ノ状態トナレリ、依ツテ急速ニコレガ病害ノ生理的機構ヲ研究シ栽培技術ニヨル有効適切ナル防止対策ヲ樹立セントスルモノナリ。

一、研究事項説明書

昭和二十年度技術院委嘱(予定)ニ依ル戦時研究「馬鈴薯バイラス病害防止対策ニ関スル研究」ノ一部ニ従事スベキ栽培担当教授野口彌吉ノ研究遂行上二名ノ補助者ヲ要スベクハ其ノ研究ニ従事スル最適任ニシテ且絶対不可缺ノ要員ナリト認ムルヲ以テ特別研究生トシテ申請スルモノナリ。

二〇一農〇二

大学院特別研究生候補者研究事項解説書 東京帝国大学農学部

東京帝国大学農学部農芸化学科 ■■■

指導教官 教授 朝井勇宣

同 助教 山田浩一

一、研究事項

纖維素物質（木材、草炭等）ヨリ「アルコール」ノ製造ニ関スル研究

一、研究事項解説

本研究ハ教授朝井勇宣ガ陸軍燃料技術研究所、第一海軍燃料廠及ビ技術院ノ委託ニヨリ鋭意研究中ノ事項ニシテ航空燃料増産確保ノ為メ緊急ニ其ノ成果ヲ挙ゲ以テ戦力増強ニ寄与セザルベカラズ、而シテ本研究ヲ急速ニ遂行スル為メニハ研究実験ヲ分担セシムベキ有能ナル研究員ヲ多数必要トス、本研究ニ対シ特別研究生トシテ■■■■ハ最適任者ニシテ又教授ノ研究補助員トシテ不可缺ノ要員ナリ。

二〇一農〇三

大学院特別研究生候補者研究事項解説書 東京帝国大学農学部

東京帝国大学農学部林学科 ■■■

指導教官 教授 三好東一

一、研究事項

航空機用木材硬化積層材ニ関スル研究

一、研究事項解説

航空機用木材及硬化積層材特ニ機体翼桁用強化木ノ理化学的性

質ヲ克明ナラシメ以テ性能ヲ向上セシムベキ品質改善方法ニ就

キ研究ス。

一、研究事項説明書

木材々料学講座担当教授三好東一ノ木材及硬化積層材ノ研究（第一陸軍航空技術研究所ノ委託研究）ヲ緊急ニ遂行スルタメ研究補助員数名ヲ要スベキ処現在助手二名ニテ補助員不足ノ現況ニ鑑ミ之レガ補充ハ緊急ヲ要ス

■■■■ハ右研究ノ一部トシテ木材及硬化積層材ノ理化学的性質ニ就キ研究中ノ者ニシテ前項補助員トシテ最適ノ者ナリ。

二〇一農〇四

大学院特別研究生候補者研究事項解説書 東京帝国大学農学部

東京帝国大学農学部獣医学科 ■■■■■■

指導教官 助教 岡部利雄

一、研究事項

軍馬ノ馱載能力増進ニ関スル研究

一、研究事項解説

軍馬中最大多数ヲ占ムル可キ馱馬ノ能力増進ノ為メ軍関係ト連繫ノ上馱載適量ト其適位置ノ決定及馱載方法ノ改良ニツキ研究シ馱馬編成部隊ノ戦力増強ニ資セントスルモノニシテ現下極メテ緊急ニシテ且ツ必要ナルモノナリ。

二〇一農〇五

大学院特別研究生候補者研究事項解説書 東京帝国大学農学部

東京帝国大学農学部水産学科 ■■■■

指導教官 教授 雨宮育作

同 同 森高次郎

一、研究事項

サブロペル（堆骸）飼料ニ関スル研究

一、研究事項解説

陸軍糧秣本廠ヨリ依託ヲ受ケテ研究ヲナシ居ル研究事項ニシテ糧秣飼料ニ関スル研究特ニサブロペルヲ利用セムトスルモノナリ飼料トシテ価値大ナル該材料ガ軍用トシテ大ニ役立つニ至ラシメムトスル研究ナリ。

二〇一農〇六

大学院特別研究生候補者研究事項解説書 東京帝国大学農学部

東京帝国大学農学部農業土木学科 ■■■■

指導教官 教授 田中貞次

同 同 秋葉満壽次

一、研究事項

農地、飛行場ノ構設並ニ排水管理

一、研究事項解説

軍当局ト連絡ノ上開墾並ニ農地排水ノ技術ヲ飛行場ノ急速ナル設定ニ応用セントスルモノニシテ之ニ伴フ飛行場ノ地表水（開渠）地下水（暗渠）ノ処理、土壤ノ搗固メノ研究ハ時局下極メ

テ緊要ナルモノナリ。

二〇一農〇七

大学院特別研究生候補者研究事項解説書

東京帝国大学農学部水産学科学生 ■■■■

指導教官 教授 森高次郎

一、研究事項

水産動物油ヨリ高級潤滑油^(挿入)ノ製造研究

一、研究事項解説

文部省學術研究会議科学研究動員ニ依ル重要研究事項ニシテ研究室長タル森高次郎ヲ指導教官トスル研究軍用ノ高級潤滑油ノ製造ヲ目的トスルモノナリ

二〇一農〇八

大学院特別研究生候補者研究事項解説書

東京帝国大学農学部林学科 ■■■■

一、指導教官

教授 三浦伊八郎

助教 右田伸彦

一、研究事項 強化木ノ化学的研究

一、研究事項解説 航空機用強化木製造時ニ於ケル木材質特ニリグ

ニンノ化学的变化ヲ研究シ航空機用強化木ノ品質改善ニ資セムトス。

研究事項説明書

第一陸軍航空技術研究所委嘱「強化木ノ化学的研究」並ニ第八

事情ニヨリ特別研究生トシテ■■■■ハ最適任者ニシテ且教授ノ研究補助員トシテ絶対不可缺ノ研究要員ナリトス。

二〇一農一五

大学院特別研究生候補者研究事項解説書 東京帝国大学農学部

東京帝国大学農学部林学科

指導教官 教授 川村実平

二〇一農一四

大学院特別研究生候補者研究事項解説書 東京帝国大学農学部

東京帝国大学農学部農学科

指導教官 教授 佐々木喬

一、研究題目 薯ノ増産ニ関スル研究特ニ菊芋ノ栽培法ニ就テ

一、^ハ薯ノ増産ニ関スル研究特ニ菊芋ノ栽培法ニ就テ^ハ甘藷、馬鈴薯及菊芋等ノ食料並ニ燃料用酒精原料作物ノ増産ニ関シテハ種薯ノ薬剤及機械的処理、育苗法等ヲ始メトシ植付及挿苗ノ方法等栽培法ノ上ニ研究スベキ余地多シ。ソレヲノ事項ニ関シ急速ニ研究ヲ進メ以テ増産ニ資セントス。特ニ新興作物菊芋等ニ関シテハ、研究ヲ要スル事項極メテ多キヲ以テ当初コレニ重点ヲ置カントス。

本研究ハ文部省緊急科学研究第一九〇班ノ一 甘藷育苗及第一九一班ノ二 馬鈴薯ノ栽培ニ関シ教授佐々木喬ノ研究ニ対スル一翼ヲナスモノトス。

尚本人ハ目下昨年研究セシ甘藷ノ結露ニ及ボス土壤水分ノ影響ニ就キ取纏中ナリ。

本人ハ学生時代ヨリ特殊ノ研究的能力ヲ有スルモ身体強健ナラズ、勉学意ニ任セザリシガ目下健康恢復シ研究意欲旺盛ナリ。

一、研究事項
一、研究事項解説

航空機及艦船用木材接着剤ノ研究

航空機及艦船用合板積層材、強化木等ニ使用スベキ優^(マツ)透ナル新接着剤ノ創製並ニ既存接着剤ノ品質ノ改良方法ヲ克明ナラシメ優秀ナル強化木積層材ノ製造ニ資ス。

一、研究事項説明書

文部省緊急科学研究第十八班「航空機材艦船材ノ研究」ヲ担当スル教授川村実平ノ研究ハ時局下急速ニ完成ヲ要シ、之レガタメ補助員数名ヲ要スルニ不拘木材々料学第二講座ハ創設日尚浅ク補助員極度ニ不足シ之レガ補充ハ緊急ヲ要スルモノアリ。■■■■ハ現在合板、積層材、強化木用新接着剤ノ創製ニ関スル研究ヲ行ヒツ、アル者ニシテ、前項研究補助員トシテ最適ノモノタルノミナラズ、本講座ノ研究補助員トシテ不可缺ノモノナリ。

二〇一農一六

大学院特別研究生候補者研究事項解説書 東京帝国大学農学部

東京帝国大学農学部林学科

一 研究ニシテ一般電波兵器ニ於ケル指示ヲ明確ナラシムルタメノ
ブラウン管ノ改良ト共ニ特殊電波兵器ニ於ケル残光性ブラウン
管ノ研究ヲ推進セシメントス
本特別研究生候補者ハ右研究ノ補助者トシテ最適任ニシテ且絶
對不可缺ノ要員ナリ

二〇一エ二〇三 研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部航空原動機学科

指導教官 東京帝国大学教授 石川政吉

- 一、研究事項 高々度飛行機用排気タービンニ関スル研究
一、研究事項解説

発動機用過給機駆動ノ排気タービンニハ単段衝動式、多段衝動
式並ニ反動式ノ諸方式アリ。現在ハ専ラ単段衝動式ガ採用セラ
ル。コノ方式ハ構造簡單ニシテ製作容易ナレドモ高々度用ノモ
ノハ低負荷ニ於テ効率激減シ発動機ヘノ過給ニ支障ヲ来ス虞レ
アリ。一方多段式ハ構造稍複雑トナリ且冷却ノ問題ニ難点アリ
テ今日殆ド採用セラレズ。而シテ現戦局ニ於テハ、飛行機ノ活
動高度ヲ益々高ムル必要上單段衝動式ノ短ヲ補フべく、多段式
タービンノ完成モ亦急ヲ要ス。

本研究ハ即チ主点ヲ多段式排気タービンノ研究ニ置クモノニシ
テ、之ニ依ツテ高々度飛行ニ対スル一難点ヲ解決セントス。
而シテコノ研究遂行ニハ約五名ノ補助員ヲ要スベキモ現在当航
空原動機教室ニ於テハ主補助者タルベキ助手ハ入営ノ為一名モ

ナキ状態ニアリ。

特別研究生候補者 ■■■■ハ主補助者トシテコノ研究遂行ニ最
適任者ニシテ絶對不可缺ノ研究要員ナリ。

二〇一エ二〇四 研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部機械工学科

指導教官 東京帝国大学教授 兼重寛九郎

全 全 中西不二夫
助教授 高橋安人

- 一、研究事項 特殊燃焼室及ビ燃焼方法ニ関スル研究
一、研究事項解説

特殊目的（戦研六ノ二）ヲ以テ極メテ大量ノ大氣ヲ加熱スルノ
要アリ之ガ為ノ燃焼装置ハ重油燃焼ト石炭燃焼ノ二方式ニ大別
シ得、本研究ハ主トシテ前者ヲ検討スルモノニシテ極力輕量且
小容積ノ燃焼室ニ極メテ多量ノ大氣ヲ送入シ重油ヲ完全燃焼セ
シメントスルモノナリ、從ヒテ重油燃焼設備、特殊燃焼室、送
普機ヲ研究ノ主体トシ、コノ研究結果ハ畜二前記ノ戦事研究目
的ヲ達スルノミナラズ ガスタービン及ロケット工学方面ニモ
直接ニ貢獻シ得ルモノナルヲ以テ ロケット關係ノ研究ヲモ併
セ行フモノトス。
本特別研究生候補者ハ右研究ノ補助者トシテ最適任且絶對不可
缺ノ要員ナリ。

二〇一二二〇五 研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部機械工学科 ■■■

指導教官 東京帝国大学教授 宮津純

一、研究事項 潜水艦ノ防音(学研三六班研究課題)

一、研究事項解説

水ポンプヨリ発生スル音及振動ヲ防止スル一案トシテハ、従来ノポンプ二代ツテ無廻回転様式タル高性能摩擦ポンプノ採用ガ考ヘラル。「摩擦ポンプヲ高性能トスル原理」ハ既ニ指導者ノ研究ニ依テ明カナリ。本研究ノ第一段ニ於テハ、此ノ原理ニ基キテ実用型ノ考案ヲ行フト共ニ、之ヲ理論的ニ検討改良シテ、製作容易、性能優秀ナル構造トソノ設計式ヲ確立セントス第二段ニ於テハ第一段ノ結果ニ基キ、所要容量ノモノヲ設計試作シテ実験の検討ヲ加ヘ、之ヲ実用品トシテ完成セントス。

本特別研究生候補者ハ右研究ノ補助者トシテ最適任且絶対不可缺ノ要員ナリ。

二〇一二二〇六 研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部応用化学科 ■■■

指導教官 東京帝国大学教授 増野実

同 助教 浅原照三

一、研究事項 芳香族燃料ノ合成及之ガ發動機ニ対スル影響ニ関スル研究

一、研究事項解説

高出力、高オクタン価燃料ニ依ル航空發動機ノ性能向上ハ現下最モ必要ナル研究事項ナリ、高オクタン価燃料トシテ「イソパラフィン」以外ノモノトシテB 29等ノ米国飛行機搭載燃料中ニ芳香族系炭化水素ノ存在ヲ確認シ、之ガ研寄^光ノ短期解決ノ緊急必要ヲ痛感セリ、故ニ従来之ガ合成ニ関スル研究ヲ継続スルト共ニ単筒發動機ニヨル性能試験ヲ実施シ、性能ノ優秀性ヲ確認シ併セテ松根油ノ研究ヲモ行ヒ戦力増強ニ資セントス

本特別研究生候補者ハ右研究ノ補助者トシテ最適任ニシテ且絶対不可缺ノ要員ナリ

二〇一二二〇七 研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部冶金学科 ■■■

指導教官 東京帝国大学教授 志村繁隆

同 助教 一色貞文

一、研究事項 金属材料ニ於ケル加工応力ノX線の研究

一、研究事項解説

金属材料ハ鑄造、圧延、鍛造、押出、引拔、熔接其ノ他各種加工法ニヨリ製造セラレ、其レ等製品ノ性質ハ加工方法ノ種類、加工度、加工温度等ノ条件ニ支配セラル、ハ周知ノ事実ナリ。

而シテソノ諸性質ハ加工ニ基ク応力ニ影響セラル、点甚ダ大ナルノ他、応力ノ内在セル材料ニアリテハ爾後ノ取扱中形状ニ狂ヒテ生ジ易ク、使用目的ニ副ハザルニ至ルモノ多シ。依ツテ加工条件ヲ確立セシムル為ニモ、又製品検査ノ立場カラスルモ、

応力ヲ迅速簡單ニ而モ正確ニ測定スルハ極メテ重要ニシテ、ソ
ノ為ニハX線ノ廻折現象ヲ利用スル事ガ最適ナリ。而シテX線
ニヨル応力測定技術ハ現在發達途上ニアリ、未ダ研究不充分ナ
ルヲ以テ、指導教官等ハ海軍技術研究所委嘱ニナル「X線応力
測定機」ノ試作研究、航空技術協会研究課題「非破壊材料検査」
中ノX線の応力測定法ノ研究文部省科学研究費ニヨル「加工金
属ノ組織ト応力」ノX線の研究、戰時研究「鋼ノ加圧鑄造」中
ノ応力測定部面ノ研究等ニ銳意従事シツ、アリ。之レ等研究ハ
互ニ相関聯セルモノニシテ、多数ノ高級科学技術協力者ヲ要ス
ベキ処、本候補者ハ昭和十九年五月以降学内動員学生トシテ本
研究ニ協力シアリ

本研究遂行上補助者トシテ最適任且絶対不可缺ノ研究要員ナリ

二〇一二二〇八

研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部電気工学科 ■■■

指導教官 東京帝国大学教授 福田節雄

一、研究事項 自動追従装置ニ関スル研究

一、研究事項解説

軍依嘱ニ依ル兵器ノ自動追従装置特ニ其ノ電気的方式ノ研究ニ
係ル自動追従装置ノ兵器ニ於ケル重要性ハ最近頓ニ其ノ重要性
ヲ増加セルガ其ノ精度其ノ他ノ性能ノ向上ニハ電気的方法ノ展
開ヲ必要トスルモノ多ク本研究ハ特ニ此ノ点ニ主目標ヲ置クモ
ノナリ

本特別研究生候補者ハ右研究ノ補助者トシテ最適任且絶対不可
缺ノ要員ナリ

二〇一二二〇九

研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部冶金学科 ■■■

指導教官 東京帝国大学教授 小川芳樹

一、研究事項 「国産低品位ニツケル鉍ノ精鍊ニ関スル研究」

一、研究事項解説

兵器ノ緊要部分品トシテ絶^(マツ)不可缺ナルニツケル資源ヲ南方
ニ依存スル能ハザル到レル事情ニ関聯シ、国内資源ノ処置ヲ根
本的ニ研究シ急速ニニツケル自給ニ資セントスルモノナリ

本研究ハ指導教官ガ主任戰時研究員トシテ当レル戰研「三六一
一一」ノ一部ヲ担当スルモノニシテ、之ニ対スル補助研究員二
名以上ヲ要スベキニ拘ラズ、実験助手ノ指導可能ナルモノナク
困難セルヲ本特別研究生候補者ニ依リ補強シテ研究ヲ推進セン
トスルモノナリ

二〇一二二一〇

研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部船舶工学科 ■■■

指導教官 東京帝国大学教授 井口常雄

一、研究事項 鉸接手ノ許容応力ニ関スル研究

一、研究事項解説

鉸接手ハ船体建造並ニ船体強度ノ根幹ヲ為スモノニシテ従来

共之ガ研究少ナカラズ、然レドモ戦局ノ進展ニ伴ヒテ船体強度ニ於テハ鋼材節約ノ為構造寸度ノ極度ノ軽減、安全率ノ低下ヲ要請セラレ、船体建造ニ於テハ多量急速建造ノ為船型並ニ接手方式ノ前例ナキ簡易化ヲ企図セラル、ニ及ビ茲ニ改メテ更ニ根本の且精細ニ鉸接手ノ許容応力ヲ検討スルノ必要ニ迫ラル、ニ到レリ。本研究ハ「文部省科学研究第六九班安全率低下及強度計算法小題目船体構造」ノ一部トシテ最モ単純ナル単一鉸ニ就テソノ破損機構ヲ究明セントスルモノニシテ、即チ最モ基礎的ナル事柄ノ解決コソ現下ノ緊急ナル要請ニ応ヘ得ル最短ノ途ナリト考フルモノナリ。而シテソノ成果ハ直チニ複雑ナル接手ノ計画ニ適用セラレ以テ目的ノ達成ニ正鵠ナル指針ヲ与ヘ得ルモノナリ

右研究ノ補助者トシテ本特別研究生候補者ハ最適任且絶対不可缺ノ要員ナリ

二〇一二二二

研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部航空機体学科

指導教官 東京帝国大学教授 河田三治

同

谷一郎

一、研究事項 高速空気力学ニ関スル研究

一、研究事項解説

本研究ハ指導教官ノ担当セル戦時研究課題ニシテ航空機性能向上ニ資スル重要研究項目ニシテ飛行機ノ高速化ニ関聯セル空気

力学上ノ諸問題ヲ基礎的ニ研究スルヲ目標トス。即チ高速機ニ最適セル翼胴体等ノ形状、高速度ニ於ケル抵抗増大ノ源泉タル衝撃波ノ機構並ニソノ防止策、ロケット噴進ノ空気力学等ニ就テ、理論的並ニ実験的ニ研究ヲ行フ予定ナリ

本特別研究生候補者ハ右研究ノ補助者トシテ最適任ニシテ且絶対不可缺ノ要員ナリ

二〇一二二二

研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部電気工学科

指導教官 東京帝国大学教授 高木昇

一、研究事項 電波兵器ニ関スル研究

一、研究事項解説

電波兵器ハ地上艦船機上ニ着々整備セラレ砲ト聯動シテ実戦ニ応用セラレツ、アリ併シナガラ標定機ノ標定精度ハ未ダ不十分ニシテ之ガ精度ヲ一段ト向上セシムルコトハ射撃命中率ヲ高ムルコト、ナリ目下緊急ニ解決スベキ研究問題ナリ。本研究ハ第一線ニ於テ極メテ容易ニ取扱ヒ得然カモ標定機ノ測距、測角精度ヲ正確ニ規正シ且電波兵器ノ動作ヲ常時最高感度ニ維持セシメントスル装置ヲ研究スルニアリ以テ各電波兵器ヲ凡テ戦力増強ニ活用セントスルモノナリ

本特別研究生候補者ハ右研究ノ補助者トシテ最適任ニシテ且絶対不可缺ノ要員ナリ

二〇一二二一三 研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部電気工学科 ■■■

指導教官 東京帝国大学教授 星合正治

一、研究事項 極超高周波並ニ其ノ電波兵器ヘノ応用ニ関スル研究

一、研究事項解説

現在各種ノ電波兵器ニ使用セラレツツアル電波ノ波長ハ漸次短縮セラレ既ニ所謂糧波域ニ及ベリ戦局ノ進展ニ伴フ新兵器ヘノ要求ト共ニ此ノ傾向ハ愈々進ミ近キ将来ニ於テ□波以上ノ極超

高周波ノ利用ガ要望セラル、ニ至ルベキヤ必セリ然ルニ現在此ノ程度ノ極超高周波ニ関シテハ未ダ確タル資料ヲ缺キ軍ノ要望

ニ応ヘ得ルノ技術ナシ本研究ハ之ガ發生法並ニ檢波法ヲ究メ其ノ性質ヲ明カニシ以テ斬新ナル電波兵器ノ出現ニ資セントスル

モノニシテ時局ト最緊要ナル部面ニ属スルモノト信ズ

本特別研究生候補者ハ右研究ノ補助者トシテ最適任ニシテ且絶對不可缺ノ要員ナリ

二〇一二二一四 研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部応用化学科 ■■■

指導教官 東京帝国大学教授 友田宜孝

一、研究事項 炭水化合物ヨリグリセリンノ製造ニ関スル研究

一、研究事項解説

グリセリン爆薬ノ製造等ニ極メテ緊要ニシテ戦時下大イニ之ガ増産ヲ図ルノ要アリ、而シテグリセリンノ原料ヲ油脂資源ノミ

ナラズ其他各方面ニ求メザレバグリセリンノ増産ハ極メテ困難

ナリ、本研究ハ甘藷其他多量ニ得フル炭水化合物資源ヨリグリセリンノ製造ヲ行ハントスルモノニシテ戦時下緊急ニ研究ヲ要スルモノナリ

本研究ノ補助者トシテ右特別研究生ハ最適任ニシテ且絶對不可

缺ノ要員ナリ

二〇一二二一五 研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部航空原動機学科 ■■■

指導教官 東京帝国大学教授 實吉金郎

一、研究事項 高負荷齒車ニ関スル研究

一、研究事項解説

齒車ハ航空發動機ノ生命トモイフベキ構造要素ニシテ、發動機ガ戦争ノ熾烈化ト共ニ益々大型強馬力ノモノトナルニ從ヒ、之

ニ使用スル齒車モ益々強高ナル負荷ニ耐ユベキモノタルヲ必要トスルニ至ル。之ハ材料ノ進歩、齒形設計ノ合理化工作及檢

査法ノ進法ニ俟ツベキモノニシテ、本研究ハ専ラ光弾性学ヲ応用シテ高負荷用齒車ノ齒形ノ研究ヲ行ハントスルモノナリ

而シテコノ研究遂行ニハ約五名ノ補助員ヲ要スベキモ現在当航空原動機教室ニ於テハ主補助者タルベキ助手ハ入管ノ為一名モ

ナキ状態ニアリ。特別研究生候補者■■■■ハ主補助者トシテコノ研究遂行ニ最適任者ニシテ絶對不可缺ノ研究要員ナリ

二〇一二二一六 研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部建築学科 ■■■

指導教官 東京帝国大学教授 渡邊要

東京帝国大学助教 高山英華

一、研究事項 帝都ノ戦闘態形ニ関スル技術の方策研究

一、研究事項解説

現戦局下敵ノ大空襲ハ必至ノ状勢ニアリ、然モ帝都ハ軍需生産機能ヲ始メ各種中枢の機能多数集^数集中シ現状ノマ、ニ推移センカ直接戦力ニ甚大ナル影響ヲ与フ可ク依ツテ即時徹底的防衛態形ニ移行セシムルト共ニ大災害ノ勃発ニ際シ不動ノ態勢ヲ確保スベク根本的計画ヲ樹立スルハ焦眉ノ急ナリ、右指導教官ノ一人ハ東京都ノ委嘱ヲ受ケ其ノ根本的戦闘態形ノ計画作成中ナルガ特別研究生候補者■■■■ハ右研究補助員トシテ最適任者ニシテ且絶対不可缺ノ要員ナリ

二〇一二二一七 研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部船舶工学科 ■■■

指導教官 東京帝国大学助教 佐藤正彦

一、研究事項 波浪中ヲ航走スル船体運動狀況ノ研究

一、研究事項解説

波浪中ヲ航走スル船体ノ運動ハ艦船ノ諸性能殊ニ速力、強度、安全性、操縦性等ニ重大ナル関係ヲ有シ究明ヲ要スル事項ハ広汎ニシテ其ノ孰レノ解明モ艦船特ニ船艇ノ戦闘力發揮ノ上ニ又

設計合理化ノ上ニ尠カラザル寄与ヲ為シ得ルモノト思考ス。

本研究ハ其ノ一部トシテ船体水線上下ノ形状、重量配置、船速、波長及波高ト船体ノ運動狀況トノ関係ヲ主トシテ模型実験ニ依リ攻究セントスルモノナリ

追而本研究ハ海軍技術研究所ヨリ委託セラレタルモノノ一部ナリ

本特別研究生候補者ハ右研究ノ補助者ト最適任且絶対不可缺ノ要員ナリ

二〇一二二一八 研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部応用化学科 ■■■

指導教官 東京帝国大学教授 茂木武雄

一、研究事項 化学兵器(毒瓦斯)ノ夜間検知ニ関スル研究

一、研究事項解説

毒瓦斯ノ検知及分析ハ従来昼間又ハ照明下ニ於テ之ヲ実施スル様考案サレ居タル所夜間戦闘竝ニ特殊ノ場合ニハ夜暗ニ於テ検知ノ要アルコト痛感セラルルニ至レリ、

本目的ニ対シテハ蛍光分析ガ適合スルモノト判定シ各種毒瓦斯自体ノ蛍光性及ト他物質トノ反応ニヨル化学発光性ヲ調査実施シツツアリ、本特別研究生候補者ハ右ノ実験ニ於テ「イペリット」(実用ノ公算最モ大ナリ)ヲ「ウラニン」「エオシン」ノ如キ強蛍光性物質ニ接触セシムレバソノ蛍光ハ著シク消滅サルル事実ヲ発見シ引続キコノ方案ノ精度確認及実用化ニツキ研究ヲ進メツツアリ

尚本研究ハ指導教授ノ担当スル第六陸軍技研及海軍技研ノ依託
研究竝ニ科学研究第三〇七九号（東京帝大科学動員第三特別委
員会）ニ関聯アルモノニシテ本特別研究生候補者ハ右研究ノ補
助者トシテ最適任且絶対不可缺ノ要員ナリ

二〇一二一九 研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部建築学科 ■■■■

指導教官 東京帝国大学教授 小野薫

一、研究事項 地下工場及重要生産工場ニ利用スル骨組ニ関スル研
究

一、研究事項解説

各種工場ヲ地下ニ移設スル問題ハ戦時下生産ヲ確保スル上ニ刻
下最モ緊急ナル事項ナリ、右指導教官ハ戦時研究二五―七「地
下工場ノ建設ニ関スル研究」ノ主任戦時研究員トシテ右記事項
ニ付キ研究ニ従事中ナルモ特ニ工場ニ適スル木造骨組覆工ノ問
題ヲ取上ゲ之ヲ骨組力学、土質力学、及耐久性ノ面カサ根本的
ニ究明セントシツツアリ、今ソノ研究ヲ遂行スル為特別研究生
候補者■■■■ハ補助員トシテ最適任者ニシテ絶対不可缺ノ研
究要員ナリ

二〇一二二〇 研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部造兵学科 ■■■■

指導教官 東京帝国大学教授 菱川万三郎

同 平田森三

一、研究事項 爆撃弾道測定ニ関スル研究

一、研究事項解説

高々度ヨリノ爆撃弾道並ニ各種特種爆弾ノ弾道ヲ迅速且精密
ニ測定シ的確ナル爆撃照準諸元ヲ求ムルト共ニ有力ナル特種爆
弾創造ニ資セントス
本特別研究生候補者ハ右研究ノ補助者トシテ最適任且絶対不可
缺ノ要員ナリ

二〇一二二一 研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部航空機体学科 ■■■■

指導教官 東京帝国大学教授 池田健

一、研究事項 木製航空機ノ構造ニ関スル研究

一、研究事項解説

木材ハ高性能ノ航空機体用材料トシテ必ズシモ適材ニ非サルモ
軽合金不足ノ我国ノ現状ニ於テハ国策的ニコレヲ利用セザルヲ
得ズ。従テ木材ノ材料力学の諸性質ヲ調べ木材ノ持つ缺点ヲ補
フ方法ヲ講ジ以テ航空機体用構造材料トシテ可及的之ガ利用ニ
努ムルハ時局下最モ緊急ヲ要スル所ナリ。

然ルニ木製航空機体構造ノ合理的設計ノ基礎トナルベキ木材ノ
材料力学の諸性質中ニハ未ダ究明セラレザル点多々アルト共ニ
最近ノ木製機設計ノ技術的難点ハ主トシテ各部ノ結合部ノ強度
不足ニアル実状ニ顧ミ本研究ハコレ等ノ点ニ重点ヲ置キ之ガ急

速ナル解決ヲ図リ国策の要請ニ応ヘントスルニアリ。

本特別研究生候補者ハ右研究ノ補助者トシテ最適任ニシテ且絶
対不可缺ノ要員ナリ。

二〇一二二二 研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部応用化学科 ■■■

指導教官 東京帝国大学教授 浅岡勝彦

一、研究事項 岩石カリノ水溶化ニ関スル研究

一、研究事項解説

大東亜戦争勃発ニ伴ヒ本邦カリ資源ハ之ヲカリ含有ノ長石類岩
石ヨリ得ルノ外途ナキニ至レリ 然レドモ周知ノ如ク岩石カリ
ハ不溶性ノモノニシテ之ヲ水溶化スルコトハ喫緊ノコトニ属
ス。

右二者ハ本問題ニ関シ特ニソノ研究ヲ行ヒ緊急ニ戦力増強ニ資
セントスルモノナリ

本特別研究生候補者ハ右研究ノ補助者トシテ最適任ニシテ且絶
対不可缺ノ要員ナリ

二〇一二二三 研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部船舶工学科 ■■■

指導教官 東京帝国大学教授 井口常雄

一、研究事項 電弧熔接ノ構造力学的研究

一、研究事項解説

近時電弧熔接法ノ研究大イニ進ミテ船体構造ニ於テモソノ使用
次第二広範圍ニ互リ、構造ノ簡易化、鋼材ノ節約或ハ急速建造
等現下国家ノ要請ニ応ヘテソノ効果見ル可キモノアリト雖モ、
未ダ尚ソノ本質ニ関スル究明ニ缺クルコト多キヲ以テ、或ハソ
ノ特色ヲ過大評価シテ濫用ニ陥リ、或ハソノ缺点ニ拘泥シテ使
用ヲ逡巡シ適確ニソノ効果ヲ發揮スルニ到ラザル場合多シ。本
研究ハ「文部省科学研究第一四七班急速熔接ニヨル生産増強ノ
研究、小題目熔接ニヨル船舶急速建造法ニ関スル研究」ノ一部
トシテ、主トシテ熔接部ノ構造力学的の本質究明シ、以テ船体熔
接構造ノ設計並ビニ工作法ニ対シ明確ナル基礎ヲ得ントスルニ
アリ、ソノ成果ハ船体ノ急速建造、資材ノ節約等現下最モ緊要
ナル問題ノ解決ニ有力ナル指針ヲ与ヘ得ルモノナリ。
本研究ノ補助者トシテ本特別研究生候補者ハ最適任且絶対不可
缺ノ要員ナリ。

二〇一二二四 研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部冶金学科 ■■■

指導教官 東京帝国大学教授 志村繁隆

一、研究事項 「カルボニル法ニ依ル含ニツケル粒鉄ノ処理」

一、研究事項解説

純ニツケル及ビ純鉄ハ電波兵器、航空発動機ソノ他特殊兵器ノ
材料トシテ緊要缺クベカラザルモノナルモ、我国ニ於ケルニツ
ケル資源ハ頗ル乏シク、且含ニツケル粒鉄ヨリノニツケルノ製

鍊ハ從來至難トセラレ、總テ失敗ニ帰シタル次第ナリ。

本研究ハカルボニル法ニ依リ純ニツケル及ビ純鉄ヲ夫々直接ニ製造セントスルモノニシテ、ソノ純度及ビ性能ハ他ノ如何ナル方法ニヨルモノニモ勝リ、之ガ完成ハ決戦下一日モ猶予ナキ次第ナリ。

本研究ハ指導教官ガ多摩陸軍技術研究所、第六陸軍航空技術研究所、第八陸軍技術研究所ヨリノ緊急委嘱ニ從ツテ研究中ノモノニシテ、合成、分解、焼結、加工等多方面ニ亘ルヲ以テ、多数ノ高級科学技術協力者ヲ必要トスル処ニシテ、特ニ含ニツケル粒鉄ノ処理ニ関シテハ特別研究生候補者ノ協力ヲ要シ本研究遂行上最適任且絶体⁽²⁾不可缺ノ要員ナリ

二〇一二二五

研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部造兵学科

指導教官 東京帝国大学教授 谷安正

兼任 全 教授 大八木静雄

一、研究事項 魚雷ノ自働操舵ニ関スル研究

一、研究事項解説

目標物ナル艦船ノ航路ノ變更ニ応ジ之ヲ追跡セシムル様魚雷ノ自働的ニ操舵スル装置ノ研究ニシテ之ニヨリ魚雷ノ命中率ヲ高ムルト共ニ雷撃ノ高度ヲ高メ或ハ距離ヲ増大シ我方ノ航空機或ハ艦艇ノ損害ヲ減少セシムルヲ目的トス
本特別研究生候補者ハ右研究ノ補助者トシテ最適任ニシテ且絶

对不可缺ノ要員ナリ。

二〇一二二六

研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部電気工学科

指導教官 東京帝国大学教授 茂木武雄

同 助教 仁木榮次

一、研究事項 電子管用螢光体ニ関スル研究

一、研究事項解説

螢燐光物質ハ夜光標識、電子管螢光面X線用螢光板、螢光放電機、特殊通信等ノ方面ニ於テ時局下極メテ緊要ナル用途ヲ有スルモノニシテ殊ニ電子管方面ニ於テハ電波、音響、暗視等ノ諸兵器ノ計測目的物ヲ映像ニ現出スル役目ヲ果スモノナリ、本特別研究生候補者ハ電子管用螢光体ニツキ螢光波長分布、螢光輝度ノ精密測定、螢光膜ノエネルギー効率、電圧電流特性等ノ研究実験ニ従事セシメ以テ之等兵器ノ向上進歩ニ資セントス、尚本研究ハ指導教官ノ担当スル科学研究第三一號、戰時研究二〇一號、及海軍依託研究ニ關聯アルモノナリ
本特別研究生候補者ハ右研究ノ補助者トシテ最適任ニシテ且絶对不可缺ノ要員ナリ

二〇一二二七

研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部船舶工学科

指導教官 東京帝国大学教授 井口常雄

一、研究事項 薄肉構造部ノ衝撃強度ニ関スル研究

一、研究事項解説

薄肉構造部ノ衝撃ニヨル破損ハ、輕構造高速艦船、高速魚雷艇、飛行艇等ノ波浪衝撃、或ハ艦船ノ魚雷、爆雷等ニヨル被害等、現下船舶並ビニ航空ノ分野ニ於テ多方面ニ且頻繁ニ惹起セラレ、ソノ対策ハ極メテ緊要ナルニ拘ハラズ、ソノ本質ニ於テ未ダ明瞭ナラザルコト多シ。本研究ハ主トシテ鋼製及合板製ノ矩形板ニ就テソノ板面ニ垂直及板面内ノ衝撃荷重ニヨル破損ノ本質ヲ究明シ、之等多方面多岐ニ互ル一聯ノ問題ニ解決ノ指針ヲ与ヘントスルモノニシテ、ソノ成果ハ直チニ計画ニ応用セラレ船舶並ニ航空機ノ増強ニ寄与スル処大ナルモノナリ。尚本研究ハ当該学科ニ設置セラル、予定ノ海軍技術研究所分室ノ研究業務ノ一部トナル予定ナリ。

二〇一ニ二八

研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部機械工学科

指導教官 東京帝国大学教授 竹中二郎

一、研究事項 金属材料ノ衝撃振りニ関スル研究

一、研究事項解説

各種兵器例ヘバ戦車ノ振動緩衝用振りばね、駆動用軸等ノ如ク振り衝撃ヲ受クル部分少カラズ然ルニ此ノ方面ノ研究ハ極メテ

少ク僅ニ故東北帝国大学教授市原博士ノ研究ヲ見ルニ過ギズ、本研究ハ現在国内ニ於テ生産可能ナル各種金属材料ニ就テ衝撃振りニ関スル研究ヲ行ヒ之ガ設計製作ニ資スルト共ニ併セテ此ノ方面ヨリ衝撃破壊ノ機構ヲ窺知セントス。
本特別研究生候補者ハ右研究ノ補助者トシテ最適任且絶対不可缺ノ要員ナリ。

三、六、補欠推薦・追加推薦の分

二〇一ニ一工〇一

研究事項及其解説書

東京帝国大学第一工学部 候補者

指導教官 教授 大山松次郎

全 阪本捷房

一、研究事項 農事電化ニ関スル研究

二、右解説

戦後窮迫セル食糧ノ生産ヲ増進スルニハ電力、機械力ヲ利用スル農業法ニ依ルベキ事言フ俟タズ、即チ電動力ヲ利用スル農耕法、電熱照明及ビ超短波ノ如キ電磁波ヲ利用スル栽培法等ニ関シテ基礎的実験及研究ヲ行ヒ食糧増産ニ寄与セントス

二〇一ニ一工〇二

研究事項及其解説書

東京帝国大学第一工学部 候補者

指導教官 教授

助教 一榎悦三郎

平山嵩

一、研究事項 建築計画ニ於ケル基礎の事項ニ関スル研究

二、右解説 終戦後我国諸都市ノ復興ハ急務ニシテ之ガ建築計画ノ基礎の事項即チ還境衛生採光、防湿防音等ノ研究ハ必要缺クベカラズ志願者ノ研究内容ハ此等基礎の事項ヲ考究スルモノナリ

二〇一―一―工〇三 研究事項解説書

東京帝国大学第一工学部 候補者 ■■■■

指導教官 教授 濱田稔

一、研究事項 建築材料ニ関スル研究

二、右解説 終戦後ノ都市復興ニ不可分ナル建築資材ニ関スル研究ヲ為ス

二〇一―二―理〇一 研究事項解説書

東京帝国大学理学部数学科 ■■■■

指導教官 教授 末綱恕一

一、研究事項 物理数学ニ現ハレル特殊函数、特ニベツセル函数ノ研究

一、研究事項解説（研究事項ノ国家的緊要性ノ説明ヲ含ム）

物理数学ニ現ハレル諸函数ヲ数值計算ノ方面ヨリ研究スルモノ

ニシテ各方面ニ非常ニ重要ナリ

■■■■ハ学徒動員トシテ第二海軍技術廠数值計算班ニ勤メ非常ニ優秀ナル成績ヲアゲテ、敵長ヨリ表彰サレタル者ナリ

常ニ優秀ナル成績ヲアゲテ、敵長ヨリ表彰サレタル者ナリ

二〇一―二―理〇二 研究事項解説書

東京帝国大学理学部化学科 ■■■■

指導教官 教授 木村健二郎

一、研究事項 石炭ノ化学的研究

一、研究事項解説（研究事項ノ国家的緊要性ノ説明ヲ含ム）

本邦内地産ノ石炭・亜炭・草炭等ノ化学組成ヲ研究シソノ各種性質トノ間ノ関係ヲ検討シ之等石炭類ノ利用上必要ナル基礎的

事項ヲ明カニシ且ツ新用途開拓ニ資セントスルモノナリ

二〇一―二―農〇一

大学院特別研究生候補者研究事項解説書

東京帝国大学農学部農業土木学科 ■■■■

指導教官 教授 田中貞次

同 同 秋葉満壽次

一、研究事項

農地、飛行場ノ構設並ニ排水管理

一、研究事項解説

軍当局ト連絡ノ上開墾並ニ農地排水ノ技術ヲ飛行場ノ急速ナル設定ニ応用セントスルモノニシテ、之ニ伴フ飛行場ノ地表水（開

渠）地下水（暗渠）ノ処理、土壤ノ搗固メノ研究ハ、時局下極

メテ緊急ナルモノナリ。

二〇一二年二一〇一 研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部機械工学科 ■■■■

指導教官 東京帝国大学教授 兼重寛九郎

東京帝国大学助教授 高橋安人

一、研究事項

自動制御過程の理論的研究

一、研究事項解説

原動機作業設備等の被制御系の特性と各種制御系の特性とを整理し制御過程の実際に最も近い計算法を導くと共に各被制御系に最適の特性を有する制御系を指適する⁽¹⁾⁽²⁾

二〇一二年二二〇二 研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部造兵学科 ■■■■

指導教官 東京帝国大学教授 菱川万三郎

同右 坂井卓三

一、研究事項

遠隔指示装置の研究

一、研究事項解説

計器の指示目盛を遠隔の場所に伝える為の方法として如何なる物理現象を利用すれば簡単にして精度高き指示が得らるゝやを研究するものとす
且指示目盛が所期位置より偏倚したる場合自動的に所期位置に復帰せしむるための管制装置も併せ研究す

二〇一二年二二〇三 研究事項解説書

東京帝国大学第二工学部電気工学科 ■■■■

指導教官 東京帝国大学教授 高木昇

一、研究事項

ロツシエル塩音響機器の研究

一、研究事項解説

ロツシエル塩音響機器の特長は電気の音響変換素子として電磁音響機器の如く特殊鋼、銅線等を必要とせず国内に多量産出する。ロツシエル塩結晶を用ひるのみで所要資材は極めて少量にて済む且その音響特性は良好で附属装置も亦簡易である。ロツシエル塩マイクrohon、拡声器、ピックアップ等素子の動作理論を明かにし機器設計方針を確立すべく研究を行ふ

三・七・法学部

二〇一二年二二〇一 法学部関係研究事項解説書

指導教官 東京帝国大学教授 菊井維大 ■■■■

一、人事訴訟制度の研究

人事訴訟制度は民事訴訟法学中の余地多き分野にして、民法民事訴訟法の両域に跨る複雑至難の問題を包蔵す。加之臨時法制審議会の答申に係る民法親族編中改正の要綱及び同相続編中改正の要綱が民法親族編中及び相続編中改正の先決問題となしたる家事審判所の設置にして実現せられんか人事訴訟制度は至大

の影響を受くるに至るべし。これ本制度を一方学理的に究明すると共に他方立法的に考察し以て将来に備ふることを要する所
により。

指導教官 東京帝国大学助教 團藤重光

二、刑事訴訟法の諸原則

近時刑事司法制度に対して思想的竝に實際的見地より根本的改正の企図せられつつあるに鑑み刑事訴訟法の基本的諸原則に付再検討を加へんとす。但しその全般に及ぶことは広汎に失するを以て特に証拠法に關する原則に重点を置くものとす。

指導教官 東京帝国大学教授 川島武宣

三、農業法の研究

我国人口の大部分を占むる農・山・漁村社会は現在正に歴史的变化が予想せられてゐる。この時に當つて(つて口)明治維新以来の我国農・山・漁村の社会的經濟的發展従つて又それに対応する法律的發展の過程を研究し更に現在当面せる農・山・漁村の基礎的問題を考究し併せて将来の立法への展望に資せんとするものなり。

指導教官 東京帝国大学教授 田中二郎

四、公法の基礎理論

一般公法学の基礎的理論の研究より進むに進んで現実公法的諸現象をその基盤たる政治的經濟的〔挿入〕(〔挿入〕)の背景たる支配關係、権力關係との關聯に於て法社会学的に考察し現行公法の解釈運営に推進の指針たり得べき根本理論の確立に

資せんとす。

指導教官 東京帝国大学教授 田中耕太郎

五、企業形態法

企業制度(特に会社を中心として)に關し歴史的發展と各国法制を比較研究し其基礎の上に企業形態法の理論的實際的考察を行ふことを目的とす。

指導教官 東北帝国大学教授 南原繁

六、国家存在論

在来の主権論の検討を中心とし国家及世界に於ける全体と個の關係を闡明し国家存在の歴史的社会の把握に於て民主主義制度の當為の相を探求せんとす。

三、七、文学部

二〇一 文学部 研究事項解説書

東京帝国大学文学部大学院学生

指導教官 東京帝国大学文学部教授 板澤武雄

一、研究事項 日蘭外交史

一、研究事項解説

江戸時代日蘭貿易は松平定信の緊縮政策とナポレオン戦争の余波を受けて一時廃絶の危機に立ち、甲比丹ゾーフの懸命なる努力により辛うじて支へられてゐた。一八一六年東印度諸島が再びオランダの有に帰するに及び、東印度政府は日本貿易に多大の期待をかけて之が改善を希望し、甲比丹スツルレルを派遣し

たが成功せず、更にメイランを抜擢して出島に送つた。メイランは現状打開にはその由来を究める必要ありとして、日蘭貿易史を研究し、それに基づいて、外交策を構想し、東印度政府に献策する所があつた。それがバタビヤ学芸協会々報第十四巻に載つてゐる「歐洲人日本貿易史概観」である。研究者は該論文を中心として日蘭外交史の顛末を究め、メイランの外交的努力を国史上から又世界の歴史の大勢から検討しようと思ふ。

二〇一文〇二 研究事項解説書

東京帝国大学文学部支那哲学文学科 ■■■

指導教官 東京帝国大学教授 高田眞治

一、研究事項 近代支那思想史

一、研究事項解説

支那思想ノ研究ニ於テ近代ニ就キテハ従来比較的等閑視サレ成果ノ見ルベキモノ少キニ鑑ミ清代ヨリ現代ニ及ブ支那思想ノ経緯実体ヲ究明シ学界ノ進展ニ寄与セントス

当代支那思想家ノ著述、文集等ヲ基礎トシ、之ニ関スル邦人華人ノ研究論文等ヲ参照シツツ当代支那思想ノ実体ヲ把握スルト共ニ支那数千年来ノ學術思想ノ古キ伝統ト近代支那史トヲ背景トシテ之ヲ系統的ニ綜合研究シ一個ノ「近代支那思想史」ヲ考究セントス。

二〇一文〇三 研究事項解説書

東京帝国大学文学部東洋史学科 ■■■

指導教官 東京帝国大学教授 和田清

一、研究事項 「蒙古史研究」

一、研究事項解説

蒙古史の研究は従来もとの数少からざれど、多くはその政治軍事の史実の穿鑿のみにして未だ進んで社会經濟の組織運用にまで探究せるもの尠し。研究者は専ら意をこの未拓の分野の開拓に注げるものにして既に成吉思汗時代の元朝の兵制については精細なる研究あり、その成果の二三は史学雑誌、第五十五編第一号（探馬赤部族考序説）北亜細亜学報第三期（探馬赤部族について）等に發表したるものあり。亜細亜の遊牧民族の生活は人類の他の歴史に殆んど比類なきものにしてこれが真相の究明は啻に東洋史上に發明する所多きのみならず、一般に人類文明史の研究にも寄与する所尠からざるべきものと信ず。

二〇一文〇四 研究事項解説書

東京帝国大学文学部西洋史学科 ■■■

指導教官 東京帝国大学教授 山中謙二

一、研究事項 西欧封建社会史

一、研究事項解説

近代社会ヲ十分理解センガ為ニハ直接之ガ母胎トナレル封建社会並ニソノ崩壊過程ヲ究明スベキハ論ヲ俟タズ。殊ニ封建社会体制ヨリ急激ニ近代国家間ニ伍セル為幾多ノ封建的殘滓ニ災セ

ラレテ今日敗戦ノ悲運ヲ見ルニ至レル我ガ国ニアリテハ封建社会ノ諸特質ヲ考察検討シテ以テ反省ニ資スルニ非レバ新日本建設ノ事業ハ完遂ヲ期シ難シ。而シテ我ガ国封建社会ノ諸特質ハ西欧ノソレト比較研究スルコトニヨリ一層之ヲ明ラカニスルヲ得ベシ。西欧ニアリテ封建社会型態ノ最モ典型的發達ヲ示セル独仏地方ニシテ、之ガ成立過程ニ於テ最モ重要ナル役割ヲ演ゼルハ、「ゲルマン」系ノ「フランク」、並ビニ「ローマ」系ノ所謂「ガロ・ローマン」ナリトス。前者ノ上古自由民の体制ト後者ノ古代末大所領的体制トガ交渉シ、夫々変型シ、互ニ融合シテ、中世封建的ナル新シキ社会型態ヲトルニ至ル過程ハ未ダ完ク闡明シ尽サレタリトハ言ヒ難シ、之ガ研究ハ緊要缺リベカラザルモノト思考ス。従ツテ一応大凡西曆五世紀乃至十世紀ノ間ニ於ケル独仏地方ニ就キ、主トシテ「フランク」及ビ「ガロ・ローマン」ヲ対象シテ研究ヲ進メントス。

二〇一文〇五 研究事項解説書

東京帝国大学文学部哲学科 ■■■
指導教官 東京帝国大学文学部教授 出隆

一、研究事項「諸科学と哲学との関係」 一、研究事項解説

この研究は科学と哲学との関係を歴史的に考察したいのであるが、両者が密接に関係を保持してゐた時代、即ちギリシヤと十八世紀に至るまでの近世初期とを考察の対象としたい。即ち

数学者が同時に哲学者であり、或ひは科学者（自然科学者）であつたような時代が問題である。其処には自ら哲学と他の科学との聯関が明白な形をとつてゐるであらう。

第一にギリシヤ数学と哲学との交渉をとりあげたい。其処に吾々はギリシヤ数学とギリシヤの存在論とだ同一の精神の發現であることを発見しよう。其は自ら数学の適用をうけるべき自然科学の根柢に予想される数学的存在論の問題に關係する。従つてこゝではイデア数の哲学者、世界の数学的形成を企図したプラトンが中心とならう。

次に近代自然科学の特色は其の数学性と実験的方法とに存する。この二つの特色を代表的な哲学者、科学者の中に追究しながら数学的存在論の問題になれて行きたい。このようなギリシヤと近世との考察によつてギリシヤ哲学と近世哲学とがことなるやうに夫々の科学もことなること、即ち科学の根柢には哲学的地盤の嚴存することを指適したい。

二〇一文〇六 研究事項解説書

東京帝国大学文学部印度哲学文学科 ■■■
指導教官 教授 辻直四郎

一、研究事項 印度思想ニ於ケル我ト無我ト問題 一、研究事項解説

教授 宮本正尊
助教授 中村元

アートマン即チ「我」ノ思想ハ印度ニ於ケル自我思想ノ典型的ナモノデアルガ、ソレハ単ナル自我主義デハナク、ブラフマン即チ「梵」ノ原理ト融合セル梵我一如ノ境地ヲ以テ理想トスル。而モ尚有我觀ノ哲学ト名ツケラレル所以ハ「無我」ヲ本領トスル仏教ニ対立スルカラデア。併シ無我觀ニハ梵我一如觀ト一派相通ズルモノアルガ如ク、コレヲ思想ノ対立ト共通トノ關係ヲ倫理哲学宗教等ノ諸観点ヨリ梵語原典ニ就キ正確ニ究明スルコトハ、學術研究上緊切ノ問題デアリ特ニ東洋精神ノ特質ヲ明ラカナラシメ得ル鍵ノ重要ナル一ツデア。

二〇一・文〇七 研究事項解説書

東京帝国大学文学部心理学科

指導教官 東京帝国大学教授 千葉浩

一、研究事項 「人の構造の心理学的研究」

一、研究事項解説

K、レヴィンの構想を基礎にしてその諸概念を再検討し、又情意方面の研究法殊に精神測定の方法に關し深く反省し、然る後、先づ流動性 (fluidity) なる概念を明確にする為、代償、飽和、要求水準其他の事態を実験的に構成し、その具体的実験結果に基きそ諸条件との關聯に於て情意的行動の力学的法則を探り、其処に示される「流動性」を究明し、更に「人の構造」の構想に一步を進めようと思ふ。

二〇一・文〇八 研究事項解説書

東京帝国大学文学部倫理学科

指導教官 東京帝国大学文学部教授 和辻哲郎

一、研究事項 江戸時代ノ倫理思想 (特ニ古学派ニ就テ)

一、研究事項解説

本研究ハ江戸時代ノ倫理思想ヲ究明スルタメ、先ヅ堀河古義堂ノ中心人物ナル伊藤仁斎、東涯ヲ研究セントス、其ノ学問ハ道ノ倫理学的攻究、並ニ古典ノ歴史的認識ノ方法ニ著シキ特色ヲ有シ、当代ノ学界ニ卓立スル所以モ亦茲ニ在ルベシ。本研究ハ主トシテ此ノ点ニ着目シテ推行セントスルモノナリ。

二〇一・文〇九 研究事項解説書

東京帝国大学文学部助手社会学科

指導教官 東京帝国大学教授 戸田貞三

一、研究事項 世界宗教の社会的機能―特にその世界主義的傾向について

一、研究事項解説

民族的宗教と世界宗教との間には、宗教といふ範疇の下に考へられる限り類似の点も存在するのであるが他面特殊のと普遍的といふ点に於て、極めて著しい差異があると考へられる。従来ノ宗教社会学に於ては、ともすればこの差異の点が看過される傾きがあつた。こゝでは特に世界宗教の、民族的宗教と異なつた社会的機能を文化社会学的に究明したいと思ふ。

その際世界宗教に本質的な、超民族的超国家的な世界主義的傾向か、民族的国家的感情乃至意識と、如何なる関係の下に立つかを研究の重点としたい。そして特にキリスト教に於ける世界主義的思想か、^我書が国民の民族意識に如何なる影響を与へたかを明かにして、実証的根拠としたいと思ふ。

二〇一文一〇 研究事項解説書

東京帝国大学文学部教育学科 ■

指導教官 東京帝国大学教授 上村福幸

一、研究事項 教材の歴史的研究

一、研究事項解説

教育上教材のもつ地位と特質を歴史的考察を通じて明らかにせんとするのが本研究の目的である。

明治五年「学制」頒布以来学校教育は次第に整備拡充せられ其の教材は時代の推移に随ひ社会並に教育全般の動向と密接な聯繫のものに歴史的展開を遂げてゐる。

本研究は初等教育に於ける教材、特に明治時代小学校教科書の調査研究を中心として其の変遷の様相を明らかにし之が時代の動向並に教育全般との^練関を考究し教育上教材の占める地位と其の特質を明らかにせんとするものである。

二〇一文一一 研究事項解説書

東京帝国大学文学部美学美術史学科 ■

指導教官 東京帝国大学教授 児島喜久雄

一、研究事項 西欧中世芸術の研究

一、研究事項解説

美術史研究にとり其方法論は極めて重要であるが、此点に就て一般に東洋美術史日本美術史の研究に就ては方法論的自覚が未だ不十分であるやうに思はれる。故に西洋に於て美術史研究に於て採られる方法を学ぶことは我国美術史研究のために必要に思はれる而も嚴なる抽象的方法論に流れず具体的歴史性を失はざらんがために一時代—中世—を選び、西欧諸家の文献によりて之を研究せんとする。即ち研究方法論の展開を本研究の目的とする。

現代に於て美術は他の文化部門の中にあつて自主的孤立的にあるがそれは必ずしも光榮あるものではない。美術とは、本来その言語 des Beaux-Arts の意味する如く、工芸、音楽、文学、舞踊等一般芸術を示すのであり、従つて寧ろ「芸術」として理解さるべきものである。更に芸術は本来或宗教或哲学、或世界観より流れ出づるものであり、従つて宗教、哲学、道徳と深く交渉するものである。此意味で西欧中世は其の最も典型的なものとひ得るであらう。

本研究に於ては、中世の生誕にロマネスク・ゴシックの各時代への推移及びルネッサンスに萌芽せる近代との対比に於て眺められたる中世を、其基礎たる^基基督教、中世哲学的地盤を離る、ことなく、芸術、特に造形美術を中心として研究する予定

である。

而して、「東洋的なるもの」と「中世的なるもの」とは、近代ヒューマニズム的、物質文明に対比せらるゝ、点に於て共通なる精神に生きるものであり、従つて中世芸術の理解は東洋美術日本美術研究の序論的役割を果すものと思はれる。

二〇一 文二二 研究事項解説書

東京帝国大学文学部言語学科 ■■■

指導教官 東京帝国大学教授 服部四郎

一、研究事項 アルタイ語の文法的研究

二、研究事項解説

従来の比較文法において行はれる音韻音韻対応及び形態の対応の研究を差置いて文法的意義文法的機能を主眼とする文法組織の比較研究により言語の親縁性を証明せんとする新しい方法を、土耳古語蒙古語、通古斯語の形成する可能性あるアルタイ語族の研究において実施し、同じ方法により之等諸言語と日本語との系統関係をも明かにせんとする。

二〇一 文二三 研究事項解説書

東京帝国大学文学部英文学科 ■■■

指導教官 東京帝国大学教授 斎藤勇

一、研究事項 英文学に現れたる英国国民性

二、研究事項解説

文学はその国民の自叙伝とも見らるるものなる故国民の特性を

發揮すること多し。例へばシェイクスピア、ミルトン、ワーズワス、テニソン等の詩及び「ロビンソン、クルーソー」「トム、ブラウン」等の小説には、英国国民性の現るること著し。これらの作品及びその他を通して英国国民性を研究すると同時に、英米両国民の特性の比較にも及ばむとするものなり。

二〇一 文一四 研究事項解説書

東京帝国大学文学部仏蘭西文学科 文学士 ■■■

指導教官 東京帝国大学教授文学博士 辰野隆

一、研究事項 スタンドール (Stendhal) 研究

スタンドールはフランス十九世紀前半に於ける知名の小説家にしてバルザック、ジオルジュ・サンドと俱にフランス国内は勿論、広く全歐洲に涉つて多大なる影響を及ぼせる文豪なり。その傑作「赤と黒」、「バルムの僧院」の如きは不朽の名著といふ可く、その思想の深く且つ広く、心理解剖の深刻なる、史家テラスをして賛難嘆惜かしめさりし所なり。

四、昭和二十年第二期

四一 補欠推薦・追加推薦の分

研究事項及其業績解説書

東京帝国大学第一工学部 候補者 ■■■

指導教官 教授 山口吉郎

一、研究事項 石炭及諸鉱石ノ選鉱学的研究

二、右研究事項ノ業績解説

(一) 石炭ニ関スル研究

(イ) 朝鮮無煙炭ノ浮遊選鉱、従来極メテ困難視サレテ居タ朝鮮無煙炭ノ選炭ヲ浮遊選鉱ニ依リ解決シヨウトスルモノデア。試料ハ黒嶺産無煙炭ヲ用イタ原炭灰分三四%ノモノヨリ灰分一六%ノ精炭六〇%ヲ得タ。

(ロ) 洗炭廃泥ノ性質究明並ニ微粉炭回収

洗炭廃泥ノ問題ハ重要デア、ソノ試料トシテ満州ノ阜新炭鉱ノ洗炭廃泥ヲ用イタ、コレハ当炭鉱トシテ目下当面シテ居ル問題デアリ、ソノ量ハ可ナリノ額ニ達スル。コレヲ処理シテ微粉炭ヲ回収セントスルモノデア、分粒並ニ浮遊選鉱ヲ併用スルコトニヨリ廃泥灰分四三%ノモノヨリ灰分九%ノモノ一四%灰分四%ノモノ六%ヲ回収スルコトガ出来タ。

(ハ) 選炭廃石ノ低温乾溜ニヨツテ得タ油ヲ石炭ノ浮遊選鉱ニ使用スル研究

コノ試験結果ハ極メテ良好ニシテ同油ハ起泡並ニ捕収兩性能ヲ有シ五〇〇乃至一、〇〇〇瓦/匁ノ使用量デ充分満足スベキ成績ヲ与ヘタ。

(ニ) 洗炭曲線ノ意義拡張並ニ分離効率曲線ノ設定

従来ノ洗炭曲線ノ意義ヲ拡張シテ之ヲ浮遊選鉱成績ノ表示ニ適用シ浮選工業化ニ対スル指針トシテ有用ナル図表ヲ作成シタ、又洗炭曲線ヲ一歩進メテ分離効率曲線ヲ設

定シ、之ヲ併用スルコトニ依リ実用上便利且ツ正確ナ表示法ヲ提唱シタ。

(ホ) 石炭ノ粘結性増強ヲ目的トスル石炭ノ優先浮遊選鉱ノ研究

瀝青炭ノ带状構造ノ諸成分ヲ優先浮遊選鉱ニヨリ夫々分離シ、ソノ粘結性ヲ調べ、ソノ結果ニヨリ人工的ニ石炭ニ粘結性ヲ与ヘコークスヲ作フントスルモノデア、茂尻炭ヲ試料トシテ目下試験中デア。

(マ) 諸鉱石ニ関スル事項

之マデ専ラ石炭ノ選鉱ニ力ヲ注ギタルヲ以テ鉱石ノ方ノ業績ハナイ今後実施スル予定デア、目下山口教授ノ研究中ノ稀元素鉱物例ヘバリチウム硼素タリウム等ノ含有鉱石ノ選鉱ノ補助者トシテ実験中。

〔付記〕 (おばた けいすけ 東北大学大学院文学研究科)

(よしば やすゆき 東北大学史料館)